

令和8年度 事業計画書

令和8年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和8年度 事業計画書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

〈趣 旨〉

当財団は札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザの市内6施設を管理運営しております。

令和8年度は、当財団の運営方針を定めた中期経営計画の4年目を迎え、重点取組項目である「芸術文化との出会いを全ての人へ提供」、「次世代を担う人々の育成・支援」、「様々な「連携」を図り、当財団ならではの特色ある芸術文化事業を展開」のいずれについても積極的に取り組み、多様な施設を運営する財団の強みと多彩な事業を展開する各施設の特色をあながら、これまで以上に札幌市の文化芸術の振興を図ります。

主な事業として、芸術の森では、「サッポロ・シティ・ジャズ」や「札幌ジュニアジャズスクール」、「バレエセミナー」などの音楽・舞台芸術事業を継続し、芸術の森美術館では、「藤田嗣治展」、開園40周年記念展「花と獣 いろとかたち」を開催します。また、美術鑑賞を通じた子どもたちの学びの場として、引き続き「ハロー!ミュージアム」の充実を図ります。

彫刻美術館では、令和7年3月にご逝去された札幌在住の彫刻家・國松明日香氏の追悼展を開催し、國松氏の創作活動の歩みと北海道の文化芸術への貢献を紹介します。

コンサートホールでは、世界的なオーケストラやソリストを招へいするほか、様々な世代が参加できる多彩な公演を実施します。また、未就学児や障がいのある子どもを対象とした社会包摂事業も継続し、内容の充実を図ります。

教育文化会館では、狂言や文楽などの伝統芸能をはじめ、多彩な舞台芸術公演や市民参加型ワークショップを展開するほか、市内実演家団体と連携したオペラ事業や子ども向け事業も継続・充実させます。さらに、合理的配慮に関する研修を通じて社会的包摂機能の強化を図るとともに、職員の企画・制作能力向上を目的とした事業の実施など職員の育成にも取り組みます。

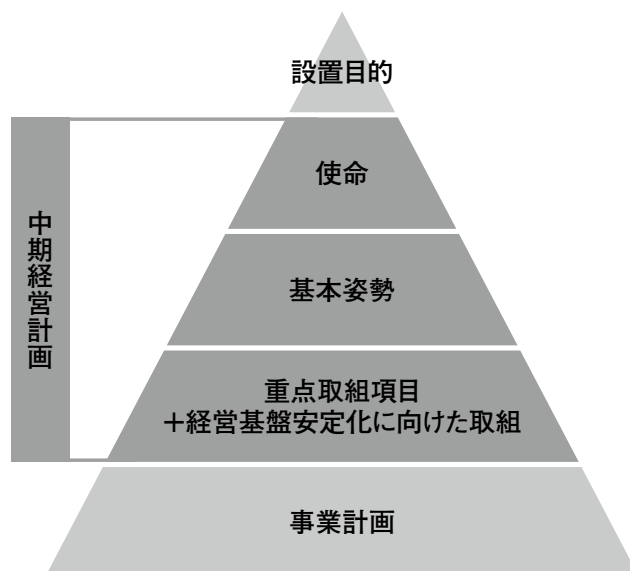
市民ギャラリーでは、開館45周年の記念事業として「○」をテーマとした絵画公募展を実施するほか、年間を通じて、幅広い世代が気軽に参加できる主催事業を実施します。

市民交流プラザでは、地元バレエ団体や教育機関、実演芸術家との協力によるhitaruバレエプロジェクトとして「眠れる森の美女」を新たに制作するほか、多彩な事業を実施し、多くのお客様に楽しんでいただく機会を提供します。また、SCARTSでは、大学等との連携事業、相談サービス・助成金交付事業などを通じて、若手アーティスト等への支援や様々な分野との連携に積極的に取り組みます。

今後とも、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに、財団の総合力を最大限に発揮し、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

〈中期経営計画〉

令和5年度からの5年間にわたる当財団の経営方針として、中期経営計画を策定しました。社会情勢や文化芸術のあり方が大きく変化し、当財団として期待されることや果たすべき役割もまた変化している中で、職員が共通の目標を持ち、施設が連携することで、より札幌市の文化芸術振興を図り、かつ、効率的な経営の実現を目指しております。



—— 使命 ——

私たちは
札幌の芸術文化の振興を担う団体としてこれまで築いてきた
総合力とネットワークを活かし
誰もが芸術文化に触れる機会を生み出し
感動の輪を広げていくことで
人と人が心豊かにつながる未来を創造します

当財団は、札幌の文化拠点である6つの施設で、長年にわたり、企画・運営を担ってきました。これまでの運営を通じ、多彩なジャンルの芸術文化を提供できる専門性、施設間で効果的に連携できる組織力、関連団体との幅広いネットワーク等を築き上げてきました。

これらを最大限に活用し、子どもから大人、障がいのある方や外国人の方、アーティストなど、あらゆる人が芸術文化に触れ、また創作、表現できる機会を充実させることで、心はずむような体験との出会いを創出します。

このような心はずむ体験との出会いが感動となり、人々の豊かな情操や創造性あふれる人間性を育みます。そして、より多くの人々が感動に出会い、共有し、感動の輪が広がっていくことで、芸術文化をきっかけとして、人と人との交流が生まれ、多様性を認め合う活気あふれる社会の礎となります。この感動との出会いを札幌から全道・全国、また世界へと広げていくとともに、未来に向けても永続的なものとしてできるよう次世代を担う子どもたちやアーティストをはじめとして多方面から人々の育成・支援に取り組みます。

1 多彩な芸術文化の提供と他分野連携で都市ブランド向上に貢献

長年にわたり多彩な事業を展開し培ってきた経験や専門的な人材を有する組織力、幅広いネットワークを活かすとともに、それぞれの特性を最大限発揮してきた管理施設を相互に連携させることで、子どもから大人、障がいのある方や外国人などあらゆる人々へ、魅力的な芸術文化に触れる機会と新たな感動との出会いを提供します。加えて、芸術文化がもつ創造性を活用することで、教育や福祉、観光等との連携を強化し、都市ブランドの向上に寄与します。

2 誰もが快適に利用できる施設を運営し、人々と芸術文化をつなぐ

文化施設の運営団体として、利用者満足度やサービスの維持向上のために様々な取り組みを充実させることで、誰もが安心して快適かつ平等に芸術文化活動ができる場を提供します。また、財団が管理運営を行う多様な施設を効果的に活用し、人々と芸術文化をつなぐ拠点としての役割を最大限発揮できるよう取り組みます。

3 市民の豊かな感性の涵養によるまちづくりと人材育成

芸術文化の提供を通じ、未来を担う子どもたちをはじめ、市民一人ひとりの豊かな感性を育み、人々の交流を促進していくことで、創造的で活力あふれるまちづくりに貢献します。また、芸術文化活動を行うアーティストや団体、鑑賞者などを育成、支援するとともに、活動を支えるボランティアが活躍できる機会を創出し、札幌の芸術文化の継承、発展に寄与します。

1 芸術文化との出会いを全ての人へ提供

(1) 社会包摂を意識した運営

これまで、ユニバーサルデザインへの取組や施設の無料開放、参加しやすい料金の設定、多言語対応等を実施し、そのノウハウを蓄積してきました。今後はさらに包摂性を念頭に置いて事業企画や施設運営に取り組み、障がいの有無、経済状況、国籍や年齢などに関わらず、全ての人が身近なものとして芸術文化の魅力に触れ、楽しむことができる機会を提供します。

(2) オンライン技術の効果的な活用

情報通信技術の急速な発展と普及に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な状況でオンライン技術の効果的な活用が求められています。引き続き、事業企画において時代の変化に対応した多様な芸術鑑賞スタイル等を模索し、また施設運営においてインターネットや通信端末等を活用した利便性の高いサービスを提供します。

2 次世代を担う人々の育成・支援

(1) 子どもたちの芸術文化活動の充実

これまで、子どもの頃から芸術文化に親しむことができる事業、また本物の芸術文化を体験することができる事業を積極的に実施してきました。今後もこれらの事業を充実させ、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力、さらに多様性を認め合う心を育みます。

(2) 若手アーティスト等の活動支援

芸術文化の魅力を次世代へ継承していくためには、若手アーティスト等の活躍が必要不可欠です。長期的な視点を持ち、若手アーティスト等へ発表の場や活動の機会を提供するなど、段階に応じたチャレンジやステップアップへの支援の充実を図ります。

3 様々な「連携」を図り、当財団ならではの特色ある芸術文化事業を展開

(1) 施設間連携のさらなる強化

これまで、多様な施設を管理運営する当財団のメリットを踏まえ、各施設の特色を活かした連携事業を実施してきました。今後はこの施設間連携を充実させ、さらに魅力的な事業を展開することで、新たな感動の提供を目指します。

(2) 他分野との連携の推進

特に教育分野においては、創造性が発露しやすい芸術文化への期待度は非常に高く、積極的に連携を図ってきました。また、芸術文化がもつ創造性の活用は、教育にとどまらず、まちづくり、経済、福祉、観光等の分野においても期待されています。当財団が有する高い専門性を活かし、これらの分野との連携をより一層推し進めることで、まちの活性化と魅力向上に寄与します。

—— 経営基盤安定化に向けた取組 ——

1 人材

当財団は、札幌における芸術文化施設の運営に関して最も経験豊富な団体であり、多岐にわたる高度な専門性や企画力、高い利用者満足度を維持するための様々なノウハウを保持し、関連団体や地域と良好な関係を築いてきました。

(1) 職員の採用

こうした強みを維持向上させるために必要である意欲の高い人材の確保について、中長期的な見通しに基づき進めます。

(2) 職員の育成

実践につながる研修や研鑽の機会の一層の充実や、個性や能力等に応じた管理職からの定期的なフィードバック等により、職員一人一人の能力や意識、意欲の向上を図り、組織の持続的な発展を目指します。

2 財務

当財団の使命を遂行するためには、自己財源の安定的な確保と、収入と支出のバランスが取れた適切な経営が必要なことから、以下の取組を行います。

(1) 快適な施設利用のための設備改修と、効率的な管理運営

(2) 事業における適正な料金の検討と、幅広い事業展開による収入の確保

(3) 様々な情報媒体の活用と、あらゆる世代に向けての情報発信による利用者数の増加

(4) 協賛金や助成金等による外部資金の獲得と、効果的な資産運用

令和8年度事業一覧表

【重点取組項目該当状況について】

令和8年度事業について、「中期経営計画 重点取組項目」との該当状況を掲載。各項目の内容は、下記のとおり。
 なお、中期経営計画の詳細は、P2に掲載。

社会包摂	社会包摂を意識した運営	}	芸術文化との出会いを全ての人へ提供
オンライン活用	オンライン技術の効果的な活用		
子どもたちの活動の充実	子どもたちの芸術文化活動の充実	}	次世代を担う人々の育成・支援
若手アーティスト等の活動支援	若手アーティスト等の活動支援		
施設間連携	施設間連携のさらなる強化	}	様々な「連携」を図り、当財団ならではの 特色ある芸術文化事業を展開
他分野連携	他分野との連携の推進		

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉

I 芸術の森事業部

【札幌芸術の森・本郷新記念札幌彫刻美術館 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」については、野外美術館を会場とした謎解きイベントにおいて、聴覚に障がいのある方や日本語を母語としない方、車椅子利用者も参加できるプログラムを引き続き実施する。彫刻美術館では、視覚に障がいがある方にも彫刻作品の魅力を感じていただける展示を行うほか、手話による鑑賞教室を開催し、鑑賞・参加機会の拡大に努める。

「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、ジャズスクールやハロー！ミュージアムなどを継続実施するとともに、令和7年度に制作した本郷新の伝記マンガを小学校に配布し、児童が作家や作品に触れる機会を広げることで、普及・周知に努める。

「若手アーティスト等の活動支援」については、グループキャンプやパレエセミナー、本郷新記念札幌彫刻賞などを通じて若手アーティストの育成や活動の場の創出に取組む。

「施設間連携のさらなる強化」では、アートホール改修工事期間中のパレエセミナーを市民交流プラザで開催し、財団の総合力をいかして事業継続を図る。

「他分野との連携の推進」では、地域連携として芸術の森地区文化祭を工芸館で開催するほか、札幌市立大学と連携し、芸術の森でのフィールドワークを取り入れたカリキュラムに協力する。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライ 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 音楽・舞台芸術事業								
(1)札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ								
①シアタージャズライブ							●	
②海外プロモーション事業	国外					●		
③企業・団体とのタイアップによる事業			●					
④ノースジャムセッション								
(2)次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業								
①第27期札幌ジュニアジャズスクール					●			
②札幌芸術の森パレエセミナー2026						●	●	
③北海道グループキャンプ						●		
(3)文化芸術を通じた市民活動の促進								
①パークジャズライブ								●
(4)質の高い文化芸術の創造・提供事業								
①シアタージャズライブ(再掲)								
(5)各種団体との連携による文化芸術の振興								
①各種団体共催・付帯事業								
2 美術館事業								
(1)展覧会事業								
①0さいからのげいじゅつのもり			●					
②藤田嗣治 絵画と写真		○						
③五大浮世絵師展		○						
④札幌美術展 きみのみかた 抽象(仮称)								
⑤所蔵品展								
(2)野外美術館								
①ボランティアによる作品解説								
②鑑賞アプリ、グッズの運用								
(3)教育普及事業								
①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ					●			
②子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」					●		●	●
(4)利用促進事業								
ミュージアムショップの運営及びオリジナルグッズの製作・販売								

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(5)人材育成								
①ボランティア及び美術館協力員								
②博物館実習生の受け入れ								
(6)保管・管理								
①作品の保存及び管理								
②資料整理								
(7)札幌芸術の森40周年記念事業								
①Flowering Garden 3年目								
花と獣 いろとかたち		○						
3 工芸事業								
(1)展覧会事業								
①工芸作品展示事業「ベストポケット」				●		●		
②森から生まれたクラフト展								
③工芸館コレクション展								
④北海道陶芸会展								
⑤第32回芸術の森地区文化祭								●
(2)工芸・版画講習会事業								
①工芸・版画講習会					●			
4 芸術の森の環境を生かした事業								
(1)地域連携								
①芸術の森地区連合会ほか地域の施設との連携								●
②教育機関の職場体験やインターンの受け入れ								
(2)自然環境を生かした誘客事業と施設の利用促進								
①スプリングフェスタ								
②野外美術館謎解きイベント			●					
③芸森アートマーケット								
④芸森パースデー								
⑤芸森かんじきウォーク								
(3)広報業務								
①ホームページ、SNSの活用				●				
②総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布								
③マスコミへの情報提供、誘致活動								
5 彫刻美術館事業								
(1)展覧会事業								
①本郷新記念生誕120年記念 マンガでわかる本郷新					●			
②追悼 國松明日香展(仮称)		○						
③触覚展 はじまりの感覚(仮称)		○	●			●		
④コレクション展 本郷新 祈りのカタチ(仮称)		○						
⑤コレクション展2025-2026								
⑥コレクション展 2026-2027								
⑦さっぽろ雪像彫刻展2027						●		
⑧さっぽろ雪まつり出品 「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」								●
(2)札幌彫刻賞								
①第4回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品展示		○				●	●	
②第5回本郷新記念札幌彫刻賞 募集、選考						●	●	
(3)普及事業								
①子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」					●		●	●
②彫美連続講座				●			●	
③造形教室					●			
④館長と学芸員の日曜講話								
⑤札幌おしゃべり美術部					●			
⑥酒井忠康彫刻文庫公開		○						
⑦子どもへの本郷新周知事業					●			
(4)協力事業								
①学校教育への協力					●			●
②博物館実習生の受け入れ								
③ボランティアの受け入れ								

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(5)連携事業								
①北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻教員展						●		
②地域・企業との連携								
(6)広報活動								
①ホームページ、SNSの活用				●				
②地域住民への情報提供								
(7)利用促進								
①サンクスデー			●		●			
②図書・情報コーナー								
③グッズ販売								

II コンサートホール事業部

【札幌コンサートホール 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」については、未就学児や障がいのある子どもに向けた事業及び社会包摂事業の担い手を育成する事業の内容の充実を図り継続して実施する。

「オンライン技術の効果的な活用」については、コンサートへの来場が難しい方に対する動画配信により音楽の魅力を提供する試みの検証を行う。

「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、音楽体験を提供するとともに、コンサート鑑賞により芽生えた芸術文化への興味関心を育むための取組を行うことで、未来の聴衆や演奏家の育成に繋げる。

「若手アーティスト等の活動支援」については、開館当初から継続しているセミナー事業の実施や、主催事業への出演機会の創出、公募企画への助言等、地元の音楽家育成に向けた支援を強化する。

「施設間連携のさらなる強化」については、コンサートでの連携のほか、広報などで財団内施設と多面的に連携し、クラシックファンの拡大に取組む。

「他分野との連携の推進」については、観光客誘致促進のため、スポンサー企業と連携した鑑賞付きツアーの企画に取組むなど、観光分野との連携を継続する。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 音楽鑑賞事業								
(1)オーケストラシリーズ								
①セキスイハイム presents タルモ・ベルトコスキ指揮 トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 ピアノ：辻井伸行		○						
②ベルリン・フィルハーモニー・カメラータ 室内オーケストラ with 亀井 聖矢&児玉 隼人		○						
(2)ソリストシリーズ								
①アレクサンドル・カントロフ ピアノリサイタル		○						
②国際的な演奏家による公演（仮称）		○						
③〈第29回リスト音楽院セミナー〉講師による特別コンサート								●
(3)室内楽シリーズ								
①ダネル弦楽四重奏団（2公演）								
②〈ハンガリーの俊英たちⅦ〉 マジャール・ヴァレンティン ピアノリサイタル								●
2 音楽普及事業								
(1)ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると								
①きがるにオーケストラ～モーツァルトがいっぱい！～								
②スプリング・コーラス～中学生スペシャル！						●		
③ルカさんのオルガンコンサート								
④3歳からのコンサート					●			
(2)オルガン事業								
①ルカさんのオルガンコンサート（再掲）								
②Kitaraのバースデイ 〔午前〕0歳からのさらさらパイプオルガン 〔午後〕オルガンDEミュージカルwithプロジェクションマッピング								
③第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト 赤枝 サンテソ 留果 フェアヴェルオルガンリサイタル								
④第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル								●
⑤クリスマスオルガン&コーラス						●		●
⑥オルガンウィンターコンサート								●
⑦オルガンCD制作				●				

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(3) 札幌オーケストラシリーズ								
① きがるにオーケストラ ～モーツァルトがいっぱい！～(再掲)								
② 心あたたまる Kitaraのクリスマス～愛がいっぱい～								
③ 心はずむ Kitaraのニューイヤー～幸せがいっぱい～								
(4) Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ								
① 札幌コンサートホール×日本製鉄紀尾井ホール連携事業 MATSURI-和と洋の饗宴-		○						
② The Sixth Sense		○						
③ ハンサム四兄弟		○						
(5) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業								
① 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉 若い芽の音楽会						●		●
② 令和8年度KitaraアーティストサポートプログラムI、II						●		
③ 〈Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト〉 札幌の旋律(しらべ)I								
(6) 社会包摂事業								
① 子どものためのKitara参加型音楽会 &音楽家育成ワークショップ			●	●	●	●		●
② 0歳からのコンサート			●		●			
(7) 他事業部との連携事業								
① 〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉 スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～							●	
3 教育・人材育成事業								
(1) エデュケーションプログラム								
① Kitaraあ・ら・かると								
1) きがるにオーケストラ ～モーツァルトがいっぱい！～(再掲)								
2) スプリング・コーラス～中学生スペシャル！(再掲)								
3) ルカさんのオルガンコンサート(再掲)								
4) 3歳からのコンサート(再掲)								
② Kitaraのバースデイ(再掲) [午前]0歳からのきらきらパイプオルガン								
③ 0歳からのコンサート(再掲)								
④ Kitaraファーストコンサート					●			●
⑤ 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉 若い芽の音楽会(再掲)								
(2) アウトリーチ事業								
① 〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉 スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～(再掲)								
② 専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)					●			●
(3) セミナー事業								
① パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン						●		●
② 第29回リスト音楽院セミナー								
1) 講師による特別コンサート(再掲)								
2) 特別レクチャー&公開レッスン						●		●
3) 受講生コンサート						●		
(4) 地元音楽大学等との連携事業								
① パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン(再掲)								
② The Sixth Senseメンバーによる楽器レッスン						●		●
③ 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉 若い芽の音楽会(再掲)								
④ 〈第29回リスト音楽院セミナー〉 特別レクチャー&公開レッスン(再掲)								
4 全国ホールとのネットワーク事業								
(1) ホール・他都市連携事業								
① 札幌コンサートホール×日本製鉄紀尾井ホール連携事業 MATSURI-和と洋の饗宴-(再掲)								
② 音楽の交差点～輝くパロック 花咲く江戸～								

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を他都市に紹介								
①専属オルガニストによる公演								
1)立教学院チャペルコンサート	道外							
2)赤枝 サンテソソ 留果 オルガンリサイタル	道外							
3)MUZAランチタイムコンサート	道外							
4)ザ・シンフォニーホール オルガン名曲コンサート(仮称)	道外							
②ダネル弦楽四重奏団								
1)武蔵野市民文化会館公演	道外							
2)アクロス福岡公演	道外							
3)しまんとびあ公演	道外							
(3)国内ホールとの情報交換								
①コンサートホール企画連絡会議	道外							
5 PR活動の充実								
(1)広報活動								
①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行								
②ホームページ、Kitaraアプリ、XやInstagram等のソーシャルメディア、テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用した情報提供				●				
③音楽専門誌、タウン情報誌、新聞等への広告掲載								
④SNS広告を活用したチケット販売促進、広報の強化				●				
⑤公共交通機関等を利用した広告掲出								
⑥Kitaraギャラリーを活用した展示事業							●	
⑦近隣ホテル、市内観光イベント等と連携したPR展開、外国人観光客に向けたPR								●
⑧各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所等)								●
⑨全国音楽ホール、札幌市内公共施設及び小中学校、地下鉄主要駅、ホテル、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付								●
(2)会員制度の運営				●				●
6 チケット等販売事業								
(1)チケット販売				●				
(2)グッズ販売				●			●	
7 スポンサー制度								
(1)ホールスポンサー								●
(2)事業スポンサー								●
8 Kitaraボランティアとの連携								
(1)ダイレクトメール発送活動			●					
(2)ホール見学案内			●					
(3)Kitaraギャラリー運営補助			●					
(4)主催事業補助(リスト音楽院セミナー等)			●					
(5)専属オルガニストサポート (日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)			●					
(6)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行			●					
9 その他								
①演奏会付き防災訓練								
②札幌コンサートホール施設見学会								
③地域連携								●
④PMF共催事業						●		

Ⅲ 教育文化会館事業部

【札幌市教育文化会館 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」については、幅広い年齢層を対象とする公演事業や育成・交流事業等で実績を積み重ねてきた。今後は障がい者や外国人等に対象を拡大するため、社会包摂をより意識した事業運営に向けた知識や手法の習得を目的として、引き続き内部講座等を行い、得られた知見や気づきを実際の事業に積極的に反映させていく。

「次世代を担う人々の育成・支援」については、能楽や新喜劇、演劇のワークショップ、オペラのアウトリーチ、若手アーティストを支援する演劇フェスティバルなど、従前から取組んできた事業により一定の成果を上げることができた。今後もこれらの事業を引き続き実施するとともに、規模や事業内容を検討し、参加者数の増加に努める。

「施設間連携のさらなる強化」については、能楽とクラシック音楽とのコラボレーションなどの連携事業に継続して取組成果を上げることができた。今後も、施設間連携事業の目的や期待される成果の実現に向けて、効率的な運営方法を検討するとともに、令和9年度の「教文開館50周年」に向け、各施設との調整や準備を進める。

【札幌市民ギャラリー 中期経営計画取組状況】

「オンライン技術の効果的な活用」については、子ども向けワークショップ参加者がSNSで情報を入手しているなどの効果が見られたことから、更新頻度を高めてさらなる活用を進める。

「子どもたちの芸術文化活動の充実」については、参加者から高い満足度を得られている子ども向けワークショップを継続して開催し、長期的な取組として定着させる。

「施設間連携のさらなる強化」については、コンサートホール事業部との連携による事業実施を通じて、連携先への関心や利用意欲の向上などの効果が確認できたことから、今後も継続して取組む。また、令和8年度は周年事業において全事業部との連携を図り、事業内容の充実を目指す。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 舞台芸術に関する事業								
(1)良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供								
①教文伝統芸能シリーズ 教文能 茂山千五郎狂言(仮称)								
②教文伝統芸能シリーズ 人形浄瑠璃文楽			●					
③教文伝統芸能シリーズ 松竹大歌舞伎								
④演劇公演「他人」		○						
(2)札幌の舞台芸術の創造・発表								
①教文演劇フェスティバル2026								
②教文オペラプログラム「トスカ」ほか								
③教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ)					●			●
(3)文化施設、文化団体との協働事業								
①教文伝統芸能シリーズ 教文能 能楽鑑賞のひととき								
②札幌演劇シーズン やまびこ座プロデュース 「OKHOTSK-終わりの楽園-」 沢則行ソロパフォーマンス 「コウスキ2026夏(KOUSKY=小品集)」公演								●
③札幌演劇シーズン 北海道高校演劇Special Day								●
④演劇公演 三谷幸喜新作(タイトル未定)								
⑤Farewell 2026 くるみ割り人形			●		●	●		●
⑥人形劇フェスティバル2027年 さっぽろ冬の祭典								
⑦人形浄瑠璃2027さっぽろ人形浄瑠璃あしり座公演								
⑧第67回子ども舞踊祭 Junior Festival								
2 文化芸術活動を行う人材の育成								
(1)文化芸術活動の支援事業								
<子ども向けプログラム>								
①教文伝統芸能シリーズ 教文能 小・中学生のための能楽入門			●		●			
②子ども演劇ワークショップ			●		●			
③子ども体験新喜劇ワークショップ			●		●			
<一般向けプログラム>								
①市民参加型ワークショップ 教文能 能楽大連吟 札幌			●					

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(2) 学校教育における芸術文化活動の支援								
① 中文連演劇ワークショップ2026								●
② 第72回高文連石狩支部演奏会								●
③ 第41回札幌市中文連演劇発表会								●
④ 第76回高文連石狩支部高校演劇発表大会								●
⑤ 第31回高文連石狩支部高校マーチングバンド・バントワリング発表大会								●
⑥ 第78回札幌市中学校音楽会								●
⑦ 第21回北海道中学生演劇発表大会								●
⑧ 第40回札幌市小学校児童音楽祭								●
(3) 文化芸術に関する情報の収集及び提供								
① 公立文化施設等とのネットワーク								
② 実演家など専門家との交流やメディアの活用								
③ アンケートの実施								
④ リージョナルシアター事業		○						●
⑤ 包摂的機能強化			●	●				
3 札幌市民芸術祭								
① 札幌市民劇場								
② マンドリン音楽祭								
③ ギター音楽祭								
④ 市民合唱祭								
⑤ さっぽろ市民文芸								
⑥ 新人音楽会						●		
⑦ 邦楽演奏会								
⑧ 市民美術・書道展							●	
⑨ 札幌市民吹奏楽祭								
⑩ 市民写真展								
4 広報活動								
① ホームページ活用による広報				●				
② 情報誌の編集、発行				●				
③ メディアを通じた情報提供及び広告等				●				
④ 芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による 広報及び販売促進							●	
⑤ 案内、プレイガイド、物販								
⑥ 教文☆ナビ								
5 市民ギャラリー事業								
① 市民ギャラリー美術映画会								
② 〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉スプリングコンサート							●	
③ 市民ギャラリー手づくり作品市場								
④ 市民ギャラリーワークショップ					●			
⑤ 市民ギャラリー子ども映画会								
⑥ 市民ギャラリーウインターコンサート						●	●	
⑦ 開館45周年記念事業		○		●	●		●	
⑧ 高文連石狩支部書道展・書道体験					●			●
⑨ 札幌市中学校美術・書道展								●
⑩ 札幌市中央区子ども造形展		○						●
⑪ 中央区東地区連合町内会コンサート								●

Ⅳ 市民交流プラザ事業部

【札幌市民交流プラザ 中期経営計画取組状況】

「社会包摂を意識した運営」については、高齢者など支援が必要な方にも分かりやすい施設案内・誘導や体調への配慮など、誰もが快適に施設を利用できる体制を構築する。また、外国人・学生・障がい者等に向けた鑑賞サポートを拡充するとともに、今後はこれらのサポートの周知と参加者層の拡大を図る。

「オンライン技術の効果的な活用」については、オンラインを活用した広報や有料映像配信事業に継続して取組む。また、施設予約システムの更新に伴い、オンライン予約受付などの運用についても検討する。

「次世代を担う人々の育成・支援」については、未就学児の入場が可能な公演や青少年向けワークショップの開催、若手アーティストの出演機会の創出、舞台技術者の育成を引き続き行う。さらに、地元アーティストや関係者へのヒアリングを通じ、ニーズに応じた内容とするよう努める。

「施設間連携のさらなる強化」については、情報誌「wave times+」で他施設の事業を紹介するとともに、連携をいかした事業や広報を展開する。

「他分野との連携の推進」については、福祉・教育・観光・経済分野等との連携で多角的で充実した事業を市民に提供する。

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
1 札幌文化芸術劇場に関する事業								
(1) 創造事業								
① hitaru バレエプロジェクト「眠れる森の美女」(全幕)				●	●	●		●
② hitaru のひととき hitaru オペラプロジェクト2.5 スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaru の乱		○	●	●	●	●	●	
③ hitaru オペラプロジェクト(準備)								
④ hitaru バレエプロジェクト(準備)								
⑤ hitaru creation IMMERSIVE ART MIX Vol.2 ～Collective Sound～(仮称)				●		●		
(2) 鑑賞事業								
① hitaru のひととき								
1) hitaru のひととき hitaru オペラプロジェクト2.5 スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaru の乱(再掲)								
2) hitaru のひととき Premium レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ(仮称)			●	●			●	●
② プラザフェスティバル2026 東京二期会「カルメン」(共催)		○						
③ 熊川哲也 K-BALLET TOKYO 公演(共催)								
④ 市原佐都子「キティ」				●				●
⑤ 「となり街の知らない踊り子」(共催)								
⑥ 第七回さっぽろ落語まつり(共催)								
⑦ ミュージカル「アイ・ラブ・坊っちゃん」(共催)		○						
⑧ 2026 HTB ジルベスターコンサート(共催)								
⑨ ミュージカル「ミス・サイゴン」(共催)								
(3) 普及・育成事業								
① My First Ballet スターダンサーズ・バレエ団			●		●			●
② hitaru ワークショップシリーズ					●			
③ hitaru のひととき hitaru オペラプロジェクト2.5 スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaru の乱 関連事業 研修プログラム		○				●		
④ hitaru オペラプロジェクト関連事業 hitaru オペラワークショップ for Kids オペラの世界へようこそ		○			●		●	
⑤ hitaru バレエプロジェクト関連事業 公開講座 パリ・オペラ座バレエ団 講師による公開レッスン & トークイベント(仮称)						●	●	
⑥ hitaru のひととき Premium レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ 関連事業 ワークショップ(仮称)		○				●	●	
⑦ 市原佐都子「キティ」関連事業 演劇鑑賞ツアー		○						
⑧ 札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム2026								●
⑨ 避難訓練コンサート								
(4) 交流事業								
① プラザフェスティバル								

	道外等 開催事業	新規	重点取組項目該当状況					
			社会 包摂	オンライン 活用	子どもたちの 活動の充実	若手アーティスト 等の活動支援	施設間 連携	他分野 連携
(5) 舞台技術向上への取組								
① 第7回hitaru舞台技術セミナー						●		
② 技術協力支援						●		
③ 学生向けhitaru施設見学会						●		
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業								
(1) 文化芸術活動支援事業								
① SCARTS相談サービス				●		●	●	●
② SCARTSラーニングプログラム								
1) おしえて! アートのおしごとシリーズ					●	●		
2) 助成金関連講座(仮)						●		●
3) 彫美連続講座(再掲)								
③ SCARTS企画公募事業								
1) 北の“湯”文化展 ～湯けむりの向こうから～						●		
2) 和楽器“箏 こと”の可能性						●		
④ 札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業								
(2) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業								
① SCARTS×CoSTEPアート&サイエンスプロジェクト					●			●
② SCARTS連携事業								
1) 大学連携コンサート								
ア 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校						●		●
イ 大学連携コンサート 札幌大谷大学						●		●
2) SAPPORO.ぶんだんきょうフェスティバル								
3) こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展			●		●			
4) NoMaps2026								●
5) さっぽろアートステージ2026 「キッズアートフェス」					●	●		
6) 君の椅子20年記念トークイベント(仮)		○						
③ プラザフェスティバル(再掲)								
④ SCARTSインフォメーションカウンター・コーナー						●		
(3) 文化芸術調査研究事業								
3 広報・利用促進に関する事業								
(1) 広報								
① 情報誌作成と事業広報との連携強化				●			●	
② ホームページ、SNSなどを活用した広報			●	●			●	●
③ 市民交流プラザのブランディング								●
④ その他の広報制作物							●	●
(2) 利用促進								
① 施設利用に関する営業								
② 会員制度の運営				●				●
③ 協賛制度の運営								●

芸術の森事業部 令和8年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽・舞台芸術事業												
美術館事業												
工芸事業												
芸術の森の環境を生かした事業												
彫刻美術館事業												

コンサートホール事業部 令和8年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽鑑賞事業	オーケストラシリーズ			13 セキスイハイム presents タルモベルムコンサート with 室内オーケストラ with 亀井 聖矢る弦玉 専入		17 ベルリン・フィルハーモニー・カメラータ室内オーケストラ with 亀井 聖矢る弦玉 専入						
	ソリストシリーズ							26 アルクハントバルカトロフ ピアノリサイタル	国際的な演奏家による公演(仮称)		18.19 (第29回リスト音楽祭)特別コンサートによる特別コンサート	
	室内楽シリーズ			20.21 ダネリ弦楽四重奏団							14 (リンドガリーの後継たち) マジヤールアンデインピアニサイタル	
	ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると		3.5 きがかるにオーケストラへミュージカルがいっぱいい〜/スプリング・コース〜中学生スキャンダル/ルカさんのアンジェリカ/ルカさんの鹿が5のコンサート									
音楽普及事業	オルガン事業		5 リカさんのオルガンコンサート(再掲)		22 第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト 栗原 恭弘 サンテンソ 龍果 ウェアウエルオルガンリサイタル		10 第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル		20 クリス마스オルガン&コーラス		6 オルガンウィンターコンサート	オルガンCD制作
	札幌オーケストラシリーズ		3 きがかるにオーケストラへミュージカルがいっぱいい〜(再掲)						19 心あたたまるKitaraのクリスマス〜愛がいっぱい〜	9 心はずむ Kitaraのニューイヤー〜幸せがいっぱい〜		
	Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ				6 札幌コンサートホール×日本製紙尾井ホール連携事業 MATSURI 一和と羊の響宴ー	27 The Sixth Sense						
	地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業						9.10 子どものためのKitara参加型音楽会&音楽家育成ワークショップ			27 令和8年度Kitaraアフタヌーンコンサートプログラム		7 (Kitara&札幌音楽家協会)連携プロジェクト/札幌市の旋律(12月)
教育・人材育成事業	社会包摂事業									16 ハンサム四兄弟		
	他事業部との連携事業	18 (札幌市民ギヤラリー&Kitara連携事業)スプリングコンサートによるパイプオルガンの調べ										
	エデュケーションプログラム		3.5 きがかるにオーケストラへミュージカルがいっぱいい〜(再掲)スプリング・コース〜中学生スキャンダル/ルカさんのアンジェリカ/ルカさんの鹿が5のコンサート(再掲)			5 Kitaraのバースデイ(再掲)	21.23 KitaraファーストコンサートによるKitaraファーストコンサート(再掲)	46 KitaraファーストコンサートによるKitara連携事業(若い者の音楽会(再掲))				
	アウトリーチ事業	18 (札幌市民ギヤラリー&Kitara連携事業)スプリングコンサートによるパイプオルガンの調べ(再掲)			調整中 専属オルガニストによるオルガン演奏(通年)							
ネットワーク事業	セミナー事業		15 パイプオルガン特別講義		29 オルガン体験レッスン						18.23 第29回リスト音楽祭セミナー(講師による特別コンサート(再掲))特別レクチャー&公開レッスン/受講生コンサート	
	地元音楽大学等との連携事業		15 パイプオルガン特別講義(再掲)		29 オルガン体験レッスン(再掲)			26 The Sixth Senseシン・バーによる楽団レッスン			21 (第29回リスト音楽祭)セミナー&公開レッスン(再掲)	
	ホール・他都市連携事業				6 札幌コンサートホール×白樺音楽院 尾井ホール連携事業 MATSURI 一和と羊の響宴ー(再掲)7 音楽の交差点〜贈り物(再掲)花咲く江戸〜							
	札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介	11 立教学院チャペルコンサート29 赤坂サンテンソ音楽家 オルガンリサイタル			16 MUZALONチャペルコンサートイルミネーション&音楽家公演18 高知公演17 高知公演			1 ザ・シン・フオーニホール・オルガン名曲コンサート(仮称)				
国内ホールとの情報交換						コンサートホール企画・連絡会議(道外)					コンサートホール企画・連絡会議(道外)	

教育文化会館事業部 令和8年度主催事業スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
舞台芸術に関する事業	良質で多彩な 舞台芸術作品の 鑑賞機会の提供				●7/9 松竹大歌舞伎 ●7/22 教文能 茂山千五郎狂言(仮称)			●10/21 人形浄瑠璃文楽				●1/30.31 演劇公演「他人」	
	札幌の舞台芸術の 創造・発表			●6月～11月 教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ)			●9/11-13 教文演劇フェスティバル2026	●11/28.29 教文オペラプログラム「トスカ」ほか					
	文化施設、文化団体 との協働事業		●5/9 能楽鑑賞のひととき			●8/13-20 札幌演劇シーズン 沢則行「OKHOTSK～終わりの楽園」 ●9/24-27 演劇公演 三谷幸喜新作(タイトル未定)		●12/18-20 Farewell 2026 くるみ割り人形 ●2/13.14 人形劇フェスティバル ●2/20.21 さつぼろ人形浄瑠璃あしり座 ●3/30 子ども舞踊祭					
文化芸術活動を行う人材の育成	＜子ども向け プログラム＞	●(調整中)子ども演劇ワークショップ			●7月-8月(調整中) 教文能 小・中学生のための能楽入門						●1/5.8.9 子ども体験新喜劇ワークショップ		
	＜一般向け プログラム＞	●4/14.22 教文能 能楽大連吟 札幌 第1回稽古 ●5/10 教文能 能楽大連吟 札幌 第1回発表公演										●(調整中)教文能 能楽大連吟 札幌 第2回稽古 ●(調整中)教文能 能楽大連吟 札幌 第2回発表公演	
	学校教育における 芸術文化活動の 支援		●5/23 中文連演劇ワークショップ2026 ●6/18.19 第72回高文連石狩支部演奏会		●7/30-8/3 第41回札幌市中文連演劇発表会 ●10/1-9 第76回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ●10/20 第31回高文連石狩支部高校マーチングバンド/トントフリング発表大会 ●11/1 第78回札幌市中学校音楽会 ●11/28.29 第21回北海道中学生演劇発表大会						●2/6 第40回小学校児童音楽祭		
札幌市民芸術祭	文化芸術活動に 関する情報の 収集及び提供	●公立文化施設等とのネットワーク ●実演家など専門家との交流やメディアの活用 ●アンケートの実施 ●4月-12月 リーショナルシアター事業											
		●(通年)札幌市民劇場											
		●5/24 マンドリン音楽祭	●7/12 ギター音楽祭オーディション ●8/9 邦楽演奏会オーディション ●9/15-17 新人音楽会オーディション	●10/17.18 市民合唱祭 ●11/3 新人音楽会 ●11/8 邦楽演奏会 ●10月下旬「さつぼろ市民文芸」第43号刊行 ●11/28 さつぼろ市民文芸の集い	●12/2-6 市民美術・書道展	●1/23.24 札幌市民吹奏楽祭 ●2/3-11 市民写真展							
市民ギャラリー事業		●市民ギャラリー美術映画会(年間9回)											
		●4/18 (札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業)スプリングコンサート ●5/16.17 市民ギャラリー手づくり作品市場	●8/2 七宝体験教室 ●8/7-9 高文連石狩支部書道展・書道体験 ●7/24.25 陶芸体験教室 ●8/15 夏休み子ども映画会 ●8/15.16 夏休みおえかきワークショップ ●8/15.16 (45周年事業)「アートの架け橋」	●11/10-15 札幌市中学校美術・書道展 ●12/5 市民ギャラリー・ウィンターコンサート ●12/8-15 札幌市中央区子ども造形展 ●12/18-20 ミニ上映会(ロビー) ●12/24-27 (45周年事業)「〇展」 ●12/26 冬休み子ども映画会 ●12/27 冬休みおえかきワークショップ ●(調整中)中央区東地区連合町内会コンサート	●3/27 春休み 子ども								

市民交流プラザ事業部 令和8年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創造事業	●(通年)hitaruオペラプロジェクト(準備) ●(通年)hitaruバレエプロジェクト(準備)	●5/22-24 第七回さっぽろ著語まつり(共催) ●6/7・14 ミュージカル「アイ・ラブ・坊ちゃん」(共催)			●8/2 hitaruのひととき hitaruオペラプロジェクト2.5 スベシヤルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱						●2/27,28 hitaru「眠れる森の美女」(全幕) ●3/13,14 hitaru creation IMMERISVE ART MIX Vol.2	
鑑賞事業												
普及・育成事業				●7/1 My First Ballet スターダンサーズバレエ団 ●8月 hitaruバレエプロジェクト公開講座 バリ・オペラ座バレエ団 講師による公開レッスン&トークイベント(仮称)	●8/2 hitaruのひととき hitaruオペラプロジェクト2.5 スベシヤルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱(再掲)	●11/6 hitaruのひとときPremium レジデンダリー・ガヴァント・ベイシー・オーケストラ(仮称) ●12/4,5 「となり街の知らない踊り子」(共催) ●12/5 梶川哲也 K-BALLET TOKYO公演(共催)	●12/31 2026 HTBシルバースターコンサート(共催) ●1月 ミュージカル「ミス・サイゴン」(共催)					
交流事業				●5月下旬～8/2 hitaruのひととき hitaruオペラプロジェクト2.5 スベシヤルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱 関連事業 研修プログラム	●9/4 札幌大谷大学アートプログラム「カルメン」 ●9/19,20 hitaruワークショップシリーズ	●10/10 プラザフェスティバル2026 東京二期会「カルメン」(共催) ●10/31,11/1 市原佐都子「キティ」	●10/14 選難訓練コンサート ●11/1 市原佐都子「キティ」関連事業 源劇鑑賞ツアー ●11/5 hitaruのひとときPremium レジデンダリー・ガヴァント・ベイシー・オーケストラ関連事業ワークショップ(仮称)	●11/5 札幌大谷大学アートプログラム「眠れる森の美女」 ●2/6(調整中) hitaruオペラプロジェクト 関連事業 hitaruオペラワークショップ for Kids オペラの世界へようこそ				
舞台技術向上への取組	●(通年)技術協力支援 ●4/27 学生向けhitaru施設員学会						●10月上旬 プラザフェスティバル				●2/3,4 第7回hitaru舞台技術セミナー	
文化芸術活動支援事業	●(通年)文化芸術活動支援事業 ・SCARTS相談サービス ・(調整中)SCARTSラーニングプログラム(おしとシリーズ、彰美連絡講座等) ・札幌文化芸術交流センター-SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業					●8/29,9/6 企画公募事業 ・北の“湯”文化展 ～湯けむりの向こうから～			●12/12,13 企画公募事業 ・和楽器“争”の可能性			
普及・発信 にぎわい創出事業	●(通年)SCARTS×CoSTEPアート&サイエンスプロジェクト ●(通年)SCARTSインフォメーションカウンタナー・コーナー			●7月-9月・3回 SCARTS連携事業 君の椅子20年記念 トークイベント(仮)	●SCARTS連携事業 ・8/7-9 SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル ・8/14-16 こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展 ・8/21-22 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校	●9/23-27(予定)SCARTS連携事業 ・NoMaps2026 ●10月上旬 プラザフェスティバル(再掲) ●10/24 SCARTS連携事業 ・大学連携コンサート 札幌大谷大学			●11月 SCARTS連携事業 ・さっぽろアートステージ2026「キッズアートフェス」			
文化芸術調査研究事業	●(通年)文化芸術調査研究事業											
広報	●(通年)情報誌作成と事業広報との連携強化 ●(通年)ホームページ、SNSなどを活用した広報 ●(通年)市民交流プラザのブランディング ●(通年)その他の広報制作物											
利用促進	●(通年)施設利用に関する営業 ●(通年)会員制度の運営 ●(通年)協賛制度の運営											

札幌文化芸術劇場に関する事業

札幌文化芸術交流センターに関する事業

広報・情報・利用促進に関する事業

札幌文化芸術劇場に関する事業

札幌文化芸術交流センターに関する事業

広報に関する事業に

〈 詳 細 資 料 〉

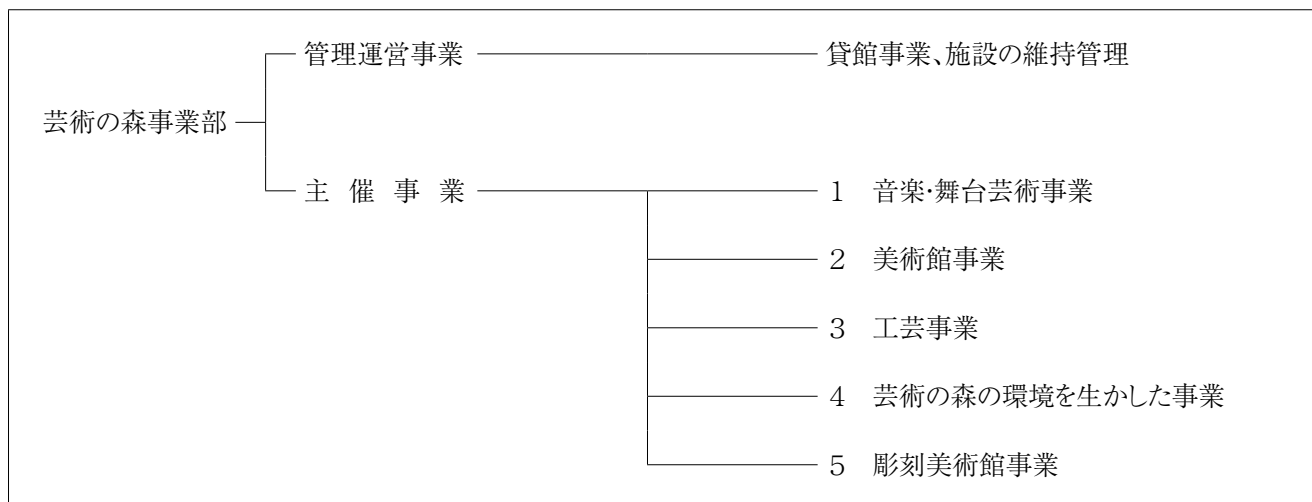
本事業計画書内の事業については、実施に向けて準備を進めている段階のものがあるが、
内容やスケジュールについては変更となる可能性がある。
なお、事業の方針および目的は維持し、調整を行う。

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利用状況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	52,740人	41,000人	60,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	123,103人	81,000人	170,000人
		総入園者数	325,612人	250,000人	500,000人
		注)各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。			
	彫刻美術館	本館 観覧者数	12,399人	9,200人	9,000人
		記念館 観覧者数	3,962人	3,600人	5,000人
		総入館者数	16,361人	12,800人	14,000人

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ

①シアタージャズライブ

hitaruの舞台空間を活用し、舞台上に客席、ステージ、フードサービスを設置した特設会場でのジャズライブを開催する。優れた舞台機構をいかしたライブ空間を創出し、食事と音楽を楽しむことのできる札幌独自のスタイルとして展開する。

期 日：令和8年11月27日(金)～12月2日(水)

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

②海外プロモーション事業

気鋭の若手ミュージシャン支援を目的に、令和7年度のパークジャズライブコンテスト優勝者を海外ジャズフェスティバルに派遣する。派遣先でのシティプロモーション、シティジャズの宣伝を行い、「ジャズの街札幌」を世界に発信する。

期 日：通年

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

③企業・団体とのタイアップによる事業

シティジャズのブランドをいかし、観光イベントや各団体などとのタイアップによるライブやイベントを開催する。出演者には地元ミュージシャンを起用し、タイアップ先の魅力を高めながら、地域づくりに貢献する。

期 日：通年

会 場：市内外各所

④ノースジャムセッション

野外ステージのリニューアルを記念し、地元ミュージシャン、サッポロ・シティ・ジャズゆかりの新進気鋭のバンドやトッププロが出演する野外ジャズライブを開催。芸術の森の豊かな自然と環境の魅力をいかしたライブイベントとして実施する。

期 日：令和8年8月29日(土)

会 場：野外ステージ

(2) 次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業

①第27期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の27年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ、地域イベントなどで演奏活動を行う。また、道内の各地域で活動する他のジャズスクールと連携して、合同合宿や演奏会を開催する。

期 日：通年

会 場：芸術の森センター レクチャー室 ほか

②札幌芸術の森バレエセミナー2026

バレエダンサーの育成を目的として主任講師にパリ・オペラ座バレエ団教師のジル・イゾアールをはじめ、国内外で活躍するダンサー、指導者を招へいし、世界水準のセミナーを開催する。また、ジル・イゾアールによる特別プログラムを市民交流プラザとの連携事業として実施する。

期 日：令和8年8月6日(木)～10日(月)

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ ほか

③北海道グルーブキャンプ

アメリカ・ボストンのバークリー音楽大学の教授陣による本格的なジャズの集中セミナー。同校元教授のタイガー大越を主任講師として現役教授陣を招へいし、同校の教育メソッドによるセミナーを全国から受講者を募集し開催する。

優秀な受講者には、翌年の同音楽大学のサマーセミナーに奨学生として参加できる「バークリー賞」を授与する。

期 日：令和9年3月下旬

会 場：アートホール ほか

(3)文化芸術を通した市民活動の促進

①パークジャズライブ

市民自らが演奏者やイベント運営スタッフとして参加し、つくりあげる音楽イベント。市民の芸術文化活動を促進し魅力ある街づくりを目的として、全国から約200組の出演者を公募し市内約10会場で2日間にわたり無料ライブを開催する。

あわせて、パークジャズライブ参加者の中から事前の音源審査を通過した10組の実力派バンドによるコンテストを開催し、優勝者に翌年の海外ジャズフェスへの出演権を授与する。

期 日：令和8年7月18日(土)～7月20日(月・祝)

※ボランティア「ジャズセーバーズ」事業は通年

会 場：大通公園2丁目、札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ、北海道神宮頓宮 ほか

(4)質の高い文化芸術の創造・提供事業

①シアタージャズライブ(再掲)

(5)各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催・付帯事業

芸術文化の普及振興や教育的効果の高い事業、地域づくりを目的とする事業、また芸術の森施設を会場とする芸術文化イベント等について、各団体・企業と連携し事業を実施する。

期 日：通年

会 場：市内外各所

2 美術館事業

(1)展覧会事業

①0さいからのげいじゅつのもり

[前年度より継続の事業]

雪の影響を受ける季節に子どもたちの数少ない遊び場として開催する展覧会。芸術の森コレクションを中心に、0さいから大人まで誰もがアートに親しめる機会を提供する。また、身体を動かす要素も多分に加え、表現力を養うこともできる場とする。

期 日：令和8年1月17日(土)～4月12日(日) 74日間(うち、令和8年度11日間)

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、札幌テレビ放送

②藤田嗣治 絵画と写真

新規

エコール・ド・パリの寵児として世界的に活躍した画家・藤田嗣治(1886-1968)の展覧会。世界初公開も含む藤田撮影の写真とともに、撮られること、描くこと、そして撮ることの3つの視点から、藤田の絵画と写真の関係について紹介する。

期 日：令和8年4月29日(水・祝)～6月28日(日) 60日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、北海道新聞社、札幌テレビ放送

③五大浮世絵師展

新規

当世の社会、政治、風俗に敏感に呼応し、時に流行を発信した江戸のメディアアーツ浮世絵を紹介する展覧会。とりわけ美人画、役者絵、風景画など各分野で頂点を極めた5人の絵師(歌麿、写楽、北斎、広重、国芳)の代表作を中心に約140点を展観する。

期 日：令和8年10月10日(土)～令和9年1月11日(月・祝) 79日間

会 場：札幌芸術の森美術館

主 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、北海道新聞社

④札幌美術展 きみのみかた 抽象(仮称)

札幌、北海道の美術家を紹介してきた「札幌美術展」の19回目。今回は抽象画に着眼し、展示での工夫を凝らして気づきや発見を促しながら約10人の作家を紹介する。

期 日：令和9年1月23日(土)～3月14日(日) 44日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑤所蔵品展

札幌市民の文化財産である美術館所蔵品を研究成果とともに展示・公開する小企画展を年間3本、B展示室にて開催する。その調査・研究の基盤となる資料整理作業を美術館協力員(資料整理部)の補佐を受けながら行う。

期 日：令和8年4月29日(水・祝)～6月28日(日) 60日間

令和8年10月10日(土)～令和9年1月11日(月・祝) 79日間

令和9年1月23日(土)～3月14日(日) 44日間

会 場：札幌芸術の森美術館 B展示室

(2)野外美術館

①ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには、希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和8年4月29日(水・祝)～11月3日(火・祝)

②鑑賞アプリ、グッズの運用

スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」での作品解説の配信(無料)、および問いかけに答えながら鑑賞を深める「彫刻鑑賞ノート」、作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむ「野外美術館シールマップ」(各220円)の販売などを通じ、作品鑑賞により親しむための取り組みを行う。

期 日：通年

(3)教育普及事業

①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、夏休み、冬休みを中心に美術教育に立脚したワークショップを開催する。

期 日：令和8年8月、令和9年1月

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

②子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

札幌市内の小学校・義務教育学校及び特別支援学校小学部5年生を学校単位で札幌芸術の森（札幌芸術の森美術館、野外美術館）もしくは彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞機会を学校に提供する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森（札幌芸術の森美術館、野外美術館ほか園内各所）、
本郷新記念札幌彫刻美術館

(4)利用促進

ミュージアムショップの運営及びオリジナルグッズの製作・販売

展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地元作家の作品を紹介、販売する。また、札幌芸術の森美術館オリジナルのグッズを製作・販売する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館

(5)人材育成

①ボランティア及び美術館協力員

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員（資料整理部・教育サービス部）を養成する。

期 日：通年

②博物館実習生の受け入れ

美術館学芸員を志す大学生を対象に博物館実習（館園実習）を実施する。

期 日：令和8年8月26日（水）～28日（金）、9月1日（火）～3日（木） 6日間

会 場：札幌芸術の森美術館

(6)保管・整理

①作品の保存及び管理

美術館における収蔵作品（野外美術館の作品も含む）の保存及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

②資料整理

美術館における書籍等の二次資料の整理及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

(7) 札幌芸術の森40周年記念事業

① Flowering Garden 3年目

新規

花と獣 いろとかたち

開園40周年記念事業として、絵画、彫刻、写真などジャンルを問わず、25名の作家を選出し、動植物との共生、生物の多様性を主題とした作品を紹介する。美術館の展示室のみならず、野外美術館にも作品を展示し、園全体が花盛り、命みなぎる森となるよう構成する。

期 日：令和8年7月11日(土)～9月27日(日) 79日間

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、有島武郎旧邸

3 工芸事業

(1) 展覧会事業

① 工芸作品展示事業「ベストポケット」

良質なクラフト作品に出会い、購入できる場の創造を目的に、北海道内で活動するクラフト作家の作品を3期に分けて展示・販売する。また、特定の作家や作品ジャンルなどに焦点を当てた企画展示やインターネット上での作品紹介と販売も行い、クラフト作品の魅力発信に努める。

期 日：①令和8年4月11日(土)～6月28日(日)

②令和8年7月11日(土)～9月27日(日)

③令和8年12月19日(土)～令和9年3月14日(日)

会 場：工芸館展示ホール

② 森から生まれたクラフト展

工房利用者や講習会受講者が制作した作品、芸術の森職員が講習会広報のために制作した作品、地元陶芸団体との協力により登り窯で焼成した作品を展示し、工芸の魅力、ものづくりへの関心の向上及び各工房のPRの機会とする。また、薪窯の活用・存続についても検討する。

期 日：令和8年11月21日(土)～12月6日(日)

会 場：工芸館展示ホール

③ 工芸館コレクション展

北欧のクラフトや過去公募展入賞作品などの工芸館収蔵品を整理し、芸術の森開館40周年を記念して、コレクションの展示公開を行う。

期 日：令和9年1月9日(土)～3月14日(日) (ベストポケットと併設)

会 場：工芸館展示ホール

④ 北海道陶芸会展

北海道内のプロ陶芸家で結成された「北海道陶芸会」の展覧会を工芸館にて開催する。

期 日：令和8年10月17日(土)～25日(日)

会 場：工芸館展示ホール

主 催：北海道陶芸会、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

⑤ 第32回芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、工芸館を会場に絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和8年11月7日(土)、8日(日)

会 場：工芸館展示ホール

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会(芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

(2) 工芸・版画講習会事業

① 工芸・版画講習会

各分野において工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、初心者から参加できる講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし、参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを与える機会を提供する。

● 一般講習会

陶芸・木工・テキスタイル・七宝・ガラス・金工および版画の、子どもから大人向け講習会を行う。

● グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶芸】たまつくり・カップ制作コース、板づくり・平皿制作コース、板づくり・パスタ皿制作コース、絵付け・小皿コース

【テキスタイル】絞り染め・バンダナコース、絞り染め・日本手ぬぐいコース、絞り染め・ハンドタオルコース

【七宝】多色盛り・リーフペンダントコース、多色盛り・キーホルダーコース

【ガラス】サンドブラスト・タンブラーコース、サンドブラスト・丸皿コース

● ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施（器に絵付けをしてみよう、たまつくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンダナ、オリジナルカンパジづくり）。

● アウトリーチ

市内文化施設やクラフト関連イベントと連携し、クラフト入門ワークショップなどのアウトリーチを開催し、工芸の知識や技法への興味関心の喚起に努める。

期 日：通年

会 場：市内文化施設等

4 芸術の森の環境を生かした事業

(1) 地域連携

① 芸術の森地区連合会ほか地域の施設との連携

芸術の森地区文化祭をはじめとする芸術の森地区連合会が主催する地域イベント等を地域の活動拠点として、一年を通じ連携開催する。

期 日：通年

行 事：真駒内川取水プロジェクト 3年目	令和8年4月
北海道を歩こう	令和8年5月
オリエンテーリングin芸術の森	令和8年10月
芸術の森地区文化祭	令和8年11月
雪あかりの祭典	令和9年1月
広報等誘客促進連携	通年

② 教育機関の職場体験やインターンの受け入れ

近隣の教育機関からの職場体験やインターンシップの受け入れを行う。

期 日：通年

(2) 自然環境を生かした誘客事業と施設の利用促進

① スプリングフェスタ

野外美術館オープンに合わせて誘客イベントを開催する。

期 日：令和8年4月29日(水・祝)～5月6日(水・休)

会 場：園内各所

② 野外美術館謎解きイベント

野外彫刻作品をモチーフとする謎解きゲーム。子どもや障がいのある方、日本語を母語としない方も楽しめる「五感であそぶ謎解き」のほか、6月1日からは開園40周年をテーマにした新規プログラムを開催する。

期 日：令和8年4月29日(水・祝)～11月3日(火・祝)

会 場：野外美術館

③ 芸森アートマーケット

市民アーティストによる手づくりアート作品のマーケットを開催する。

期 日：令和8年4月～11月 計6回

会 場：美術館前広場、工芸館前広場、アートホール ほか

④ 芸森バースデー

芸術の森開園40周年を外部に向けて広く周知するため、開園記念日に合わせて誘客イベントを開催する。

期 日：令和8年7月20日(月・祝)～27日(月)

会 場：園内各所

⑤ 芸森かんじきウォーク

かんじきで雪のなかを散策しながら野外彫刻を鑑賞できるイベントを開催する。

期 日：令和9年1月9日(土)～3月14日(日)

会 場：野外美術館

(3) 広報活動

① ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、積極的に情報を発信することによりPRを行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布

来園者を対象に広い園内をわかりやすく紹介する総合案内パンフレットを作成し配布することで、サービス向上を図りつつ、来園目的以外の施設へも足を運び園内を周遊してもらえよう促す。市内小学校の全児童に年2回、夏・冬休みのイベントをまとめた子ども向け情報紙「もりくる」を配布する等PRを行う。

③ マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で毎週配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらうよう積極的にPRに努める。

また、旅行会社やコンベンションビューローと連携し、MICE事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

5 彫刻美術館事業(本郷新記念札幌彫刻美術館)

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1)展覧会事業

①本郷新記念生誕120年記念コレクション展 マンガでわかる本郷新

[前年度より継続の事業]

本郷新生誕120年を記念して出版する伝記マンガ本の発刊に合わせ、その名場面を関連作品や資料とともに展示する。

期 日：令和8年2月22日(日)～5月24日(日) 79日間(うち、令和8年度47日間)

会 場：本館

②追悼 國松明日香展(仮称)

新規

2025年3月に急逝した札幌在住の彫刻家國松明日香(1947-2025)が、北海道の文化芸術にいかにか大きな足跡を残したかを振り返る展覧会。1973年の最初期の版画から近作までの作風の変遷をみせるとともに、さまざまな文化活動に関わってきたことを資料や写真を通して紹介する。

期 日：令和8年6月6日(土)～9月27日(日) 98日間

会 場：本館

③触覚展 はじまりの感覚(仮称)

新規

北海道の現代作家の作品を、彫刻家が最も大切にしている原始的な感覚＝「触覚」を共通テーマとして紹介するグループ展。一部の作品は触れることを可能とし、作品の質感・量感を直接味わうことで作者の触覚的感性を体験してもらい、視覚だけに頼りがちな鑑賞に奥行を与える。

期 日：令和8年10月10日(土)～令和9年1月24日(日) 86日間

会 場：本館

④コレクション展 本郷新 祈りのカタチ(仮称)

新規

札幌の教会で生まれ、キリスト教の母子像に影響を受けながら、仏像にも親しんだ本郷新。彼にとって宗教美術は、祈りの対象というだけでなく造形表現の教科書だったともいえる。本郷新の制作の中で、宗教美術からの影響に着目する展覧会を開催する。

期 日：令和9年2月27日(土)～5月23日(日) 74日間(うち、令和8年度28日間)

会 場：本館

⑤コレクション展 2025-2026

[前年度より継続の事業]

これまでの常設展示に加え、手が重要な要素になっている彫刻のコーナーを設けるほか、記念館の設計図や模型などを展示し、建築的な魅力も紹介。また、「彫刻クイズシート」を配布し、楽しみながら彫刻を深く鑑賞できるようにする。

期 日：令和7年5月31日(土)～令和8年5月24日(日) 303日間(うち、令和8年度47日間)

会 場：記念館

⑥コレクション展 2026-2027

これまでの常設展示に加え、本郷新の蔵書展示、入門的解説の追加、映像上映など、本郷新の業績をわかりやすく紹介する展示とする。

期 日：令和8年5月30日(土)～令和9年5月23日(日) 302日間(うち、令和8年度256日間)

会 場：記念館

⑦さっぽろ雪像彫刻展 2027

造形性を重視した、他とは一線を画する雪像展の18回目。札幌を中心に活動する彫刻家や木工家、造形作家、美術を学ぶ学生たちが雪の特性を生かしつつ独創性に満ちた雪像彫刻を制作し、3日間限りで展示・公開する。

期 日：令和9年1月22日(金)～24日(日) 3日間

会 場：本館前庭

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

⑧さっぽろ雪まつり出品「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」

第76回さっぽろ雪まつり大通会場に、当館が選出した美術家、工芸家が芸術性と独創性あふれる雪像彫刻を制作、出品する。

期 日：令和9年2月4日(木)～11日(木・祝) 8日間

会 場：大通会場6丁目

主 催：さっぽろ雪まつり実行委員会

(2)札幌彫刻賞

①第4回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞作品展示

第4回本郷新記念札幌彫刻賞を受賞した藤原千也の《太陽のふね》を札幌芸術の森美術館中庭に継続して展示する。また、秋分の日前後にイベントを行う。

期 日：令和6年6月29日(土)～令和9年4月末(調整中)

会 場：札幌芸術の森美術館中庭

②第5回本郷新記念札幌彫刻賞 募集、選考

札幌芸術の森美術館中庭に3年間設置する作品プランを、全国の50歳未満の若い彫刻家を対象に公募し、最も優れたものを選考する。受賞者には、札幌市からの賞金100万円のほか、令和9年度に本郷新記念札幌彫刻美術館で開催する受賞記念展の作品制作費として50万円を贈る。

期 日：〈募集〉令和8年4月～9月末 〈選考〉令和8年10月上旬

〈作品設置〉令和9年9月～令和12年4月(調整中)

主 催：札幌市、本郷新記念札幌彫刻美術館

(3)普及事業

①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学5年生を美術館に招待する、芸術の森美術館との共同事業「ハロー！ミュージアム」の選択コースとして、対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた「彫美・鑑賞コース」を実施する。

期 日：令和8年6月～12月

会 場：本館、記念館

②彫美連続講座

彫刻芸術への興味関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：令和8年7月26日(日)、11月3日(火・祝)、令和9年3月

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTSコート、SCARTSスタジオ

③造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人や小学生を主な対象とした「造形教室」を実施。彫刻家を講師とした彫刻のデッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：令和8年8月、令和9年1月

④館長と学芸員の日曜講話

職員により、彫刻や札幌の美術に関する連続講話を行い、美術館への親近感を高める。

期 日：通年(15回程度)

会 場：本館研修室

⑤札幌おしゃべり美術部

中学生以上を対象とした鑑賞ワークショップを希望学校に対して実施する。美術館の作品について感想を交換し合い、お気に入りの作品を見つけて、最後は作品の解説文を作ることに挑戦し、成果物は「おしゃべり美術部レター」として公表する。

期 日：年2回程度(調整中)

会 場：本館、記念館

⑥酒井忠康彫刻文庫公開

酒井忠康(前世田谷美術館館長)から寄贈された彫刻関連の蔵書をリスト化してホームページ等で公表し研究者に活用してもらうとともに、日を決めて市民にも公開する。

期 日：通年

会 場：本館研修室

⑦子どもへの本郷新周知事業

本郷新の芸術や作品に込めた思いを子どもたちに知ってもらうために令和7年度に制作したマンガ本を一般販売し、より広く行き渡るようにする。

期 日：令和8年3月～令和9年3月(調整中)

(4)協力事業

①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究など学校教育への協力をを行う。

期 日：通年

②博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得希望の大学4年生を対象とした博物館実習(館園実習)の受け入れ、指導を行う。

期 日：令和8年9月

③ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。

期 日：通年

(5)連携事業

①北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻教員展

令和7年度に引き続き、北海道教育大学との連携事業として開催する岩見沢校美術専攻の教員有志による作品展に対して、学芸的な助言、サポートを行う。

期 日：令和9年1月30日(土)～2月14日(日) 14日間

会 場：本館

②地域・企業との連携

展覧会、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

(6)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に配信する。また、X、Facebook、InstagramのSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行う。

期 日：通年

②地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

期 日：通年

(7)利用促進

①サンクスデー

開館記念日(6月29日)に近い日曜日と秋の一日を無料開館し、各種イベントを実施して幅広い層の来館者の利用促進を図る。

期 日：令和8年6月21日(日)、10月18日(日)(調整中)

②図書・情報コーナー

本郷新および彫刻美術館に関する図書や北海道内に設置された野外彫刻の写真資料を公開し、来館者の閲覧に供する。

期 日：通年

会 場：記念館2階

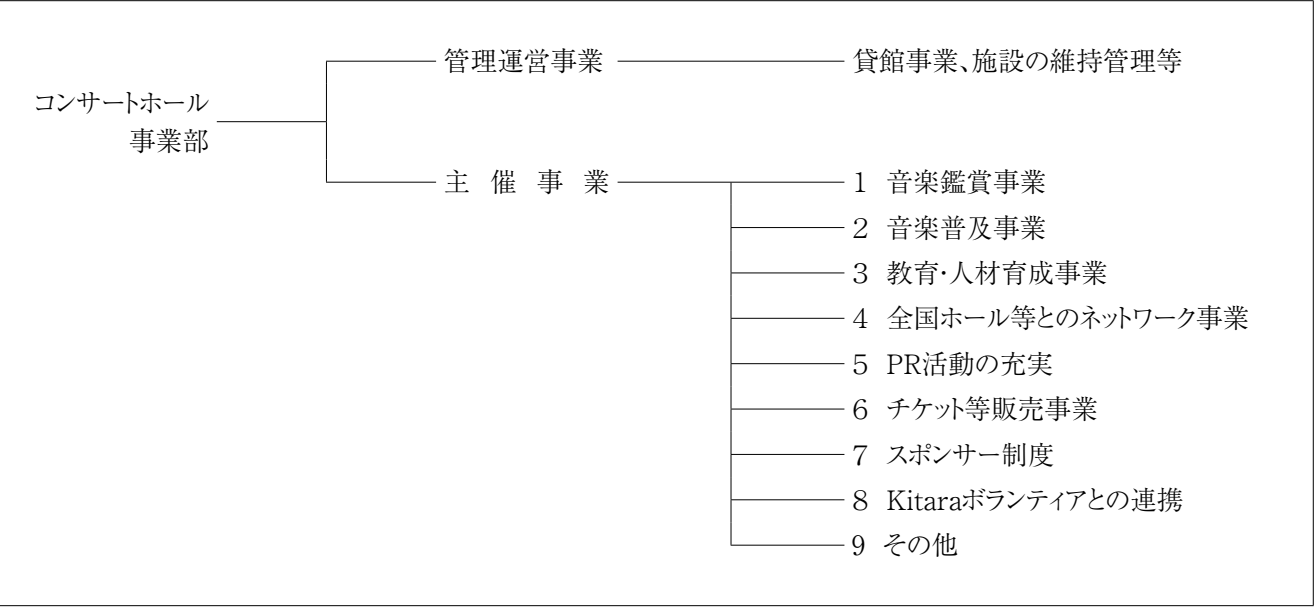
③グッズ販売

オリジナル商品、所蔵品ポストカード、過去図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用 状 況		令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
	大ホール 利用率	85.9%	87.0%	86.0%
	小ホール 利用率	74.3%	70.0%	76.0%
	総入場者数	317,982人	313,000人	375,000人

【参考】

令和5年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：60.3% 小ホール(500席未満)：55.1%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和6年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性をいかし、市民のニーズが高い海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、全国のホールと連携し魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性をいかし、世界的に著名なオーケストラ演奏の鑑賞機会を広く市民に提供する。

① セクスイハイム presents

タルモ・ペルトコスキ指揮

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 ピアノ:辻井伸行

新規

若くして新音楽監督に抜擢された指揮者のタルモ・ペルトコスキ率いるフランスの名門トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団と、世界的ピアニストの辻井伸行をソリストに迎えたコンサートを開催する。

期 日：令和8年6月13日(土)

会 場：大ホール

出 演：タルモ・ペルトコスキ(指揮)

辻井伸行(ピアノ)

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団(管弦楽)

② ベルリン・フィルハーモニー・カメラータ室内オーケストラ with 亀井 聖矢&児玉 隼人

新規

世界トップクラスのオーケストラであるベルリン・フィルのメンバーによる室内オーケストラが初来日し、人気ピアニストの亀井聖矢と、令和6年度さがるにオーケストラ公演に出演した釧路市出身の高校生トランペッター 児玉隼人とのコンサートを開催する。

期 日：令和8年9月17日(木)

会 場：大ホール

出 演：ベルリン・フィルハーモニー・カメラータ室内オーケストラ(管弦楽)

亀井聖矢(ピアノ)

児玉隼人(トランペット)

(2) ソリストシリーズ

器楽等の著名な演奏者(ソリスト)を招へいし、質の高い演奏を市民に紹介する。

① アレクサンドル・カントロフ ピアノリサイタル

新規

チャイコフスキー国際コンクールにおいて、フランスのピアニストとして初優勝を遂げたピアニストのアレクサンドル・カントロフを招へいする。

期 日：令和8年11月26日(木)

会 場：大ホール

出 演：アレクサンドル・カントロフ(ピアノ)

② 国際的な演奏家による公演(仮称)

新規

世界で活躍する演奏家による公演を開催する。日程及び内容等については調整中。

期 日：令和8年12月

会 場：大ホール

③〈第29回リスト音楽院セミナー〉講師による特別コンサート

リスト音楽院セミナーにあわせ、世界的な音楽教育機関の講師による特別コンサートを実施する。

期 日：令和9年2月18日(木)、19日(金)

会 場：小ホール

出 演：リスト音楽院セミナー講師

(3)室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性をいかした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を市民に紹介する。

①ダネル弦楽四重奏団

Kitaraで独自招へいしているダネル弦楽四重奏団を招へいし、札幌のほか東京、福岡、高知を回る日本ツアーを実施する。また、札幌公演では、第26代専属オルガニストの赤枝サンテソン留果がポジティブオルガンの演奏で共演する。

期 日：令和8年6月20日(土)、21日(日)

会 場：小ホール

出 演：ダネル弦楽四重奏団

マルク・ダネル、ジル・ミレ(ヴァイオリン)

ヴラッド・ボグダナス(ヴィオラ)

ヨヴァン・マルコヴィッチ(チェロ)

赤枝サンテソン留果(ポジティブオルガン、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②〈ハンガリーの俊英たちⅦ〉マジャール・ヴァレンティン ピアノリサイタル

ハンガリーのリスト音楽院との連携により、ハンガリーの優秀な若手アーティストを紹介するプロジェクトの第7弾。ハンガリーを拠点に活動するピアニスト マジャール・ヴァレンティンを招へいし、リサイタルを開催する。

期 日：令和9年2月14日(日)

会 場：小ホール

出 演：マジャール・ヴァレンティン(ピアノ)

2 音楽普及事業

道内唯一のプロオーケストラ札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し音楽の普及を図る。

(1)ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると

3日間にわたり演奏会や見学会、体験イベント等を企画するゴールデンウィークの音楽祭。クラシック音楽の普及とコンサートホールに気軽に足を運んでいただけることを目的とし、未就学児も入場可能なコンサートを実施するほか、地元音楽家も出演する。

期 日：令和8年5月3日(日・祝)～5日(火・祝)

会 場：札幌コンサートホール全館

①きがるにオーケストラ ～モーツァルトがいっぱい！～

指揮者に鈴木優人を迎え、生誕270周年を迎える「モーツァルト名曲集」として、初めてのオーケストラ鑑賞にもぴったりのコンサートを開催する。5歳以上の入場を可能とする。

期 日：令和8年5月3日(日・祝)

会 場：大ホール

出 演：鈴木優人(指揮・ピアノ・お話)

田島高宏(ヴァイオリン、札幌コンサートマスター)

クリス・ウォン(フルート、札幌首席奏者)

札幌交響楽団(管弦楽)

②スプリング・コーラス～中学生スペシャル！

市内中学校合唱部による合同演奏会を行う。5歳以上の入場を可能とする。

期 日：令和8年5月4日(月・祝)

会 場：大ホール

出 演：市内中学校合唱部

赤枝サンテソン留果(オルガン、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

③ルカさんのオルガンコンサート

オルガン初心者や子どもも親しみやすい名曲オルガンコンサートを行う。5歳以上の入場を可能とする。

期 日：令和8年5月5日(火・祝)

会 場：大ホール

出 演：赤枝サンテソン留果(オルガン、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

古屋瞳(司会)

④3歳からのコンサート

札幌を拠点に活動しているアーティストらによる、親子で楽しめる親しみやすいプログラムのミニコンサート。
3歳以上の入場を可能とする。

期 日：令和8年5月3日(日・祝)～5日(火・祝)

会 場：小ホール

出 演：Ⅰ 札幌オペラシンガーズ&Amici

三浦由美子(ソプラノ)、大野浩司、下司貴大(バリトン)

雪田理菜子(ピアノ)、中居千里(パーカッション)

Ⅱ 高野麗音(ハープ)

Ⅲ ランス室内楽団

石黒玲(ファゴット)、按田佳央理(フルート)

中村和乃子(オーボエ)

狩原枝里子、中川知美、福井遥香(クラリネット)

三上絵里香(ピアノ)、佐藤奏子、向愛佳(パーカッション)

(2)オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、子どもから大人までプロジェクションマッピング
グや時節のイベントを取り入れたオルガン音楽を楽しむコンサートを行う。

①ルカさんのオルガンコンサート(再掲)

②Kitaraのバースデイ

[午前]0歳からのきらきらパイプオルガン

[午後]オルガンDEミュージカルwithプロジェクションマッピング

大阪のザ・シンフォニーホールと連携し、0歳から入場可能な午前公演と、小学生以上が入場可能な午後
公演の2部制で、プロジェクションマッピングとパイプオルガンのコンサートを開催する。コンサートの冒頭に専
属オルガニストによるプレトークを実施し、幅広い層に対してオルガンの魅力を伝えるきっかけづくりを行う。

期 日：令和8年7月5日(日)

会 場：大ホール

出 演：大木麻理(オルガン)、加藤恭子、武藤厚志(パーカッション)

宮本“ブータン”知聡(ドラム)

赤枝サンテソン留果(ナビゲーター、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

③第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト

赤枝 サンテソン 留果 フェアウェルオルガンリサイタル

第26代札幌コンサートホールオルガニスト 赤枝サンテソン留果の1年間の任期の締めくりとなるさよなら公演を実施する。

期 日：令和8年8月22日(土)

会 場：大ホール

出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

④第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル

令和8年9月に着任予定の第27代札幌コンサートホール専属オルガニストのデビューコンサートを実施する。

期 日：令和8年10月10日(土)

会 場：大ホール

出 演：第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト

⑤クリスマスオルガン&コーラス

パイプオルガンと市内高校生の合唱によるクリスマスにちなんだ楽曲のコンサートを開催する。ミュンヘンクリスマス市と協力し相互PRを行う。

期 日：令和8年12月20日(日)

会 場：大ホール

出 演：第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト

大木秀一(指揮)

市立札幌旭丘高等学校合唱部

札幌山の手高等学校合唱部

⑥オルガンウィンターコンサート

雪まつりの時期にあわせ、気軽に来場できるワンコインオルガンコンサートを開催し、オルガン音楽の普及に努める。

期 日：令和9年2月6日(土)

会 場：大ホール

出 演：第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト

⑦オルガンCD制作

第27代札幌コンサートホール専属オルガニストによるパイプオルガンの演奏を録音。広くオルガン音楽を紹介するとともに、オルガンやオルガニストのPRとして活用する。

(3) 札幌オーケストラシリーズ

季節のイベントにふさわしい家族で楽しめるコンサートを開催し、オーケストラの魅力を伝える。

①きがるにオーケストラ～モーツァルトがいっぱい！～(再掲)

②心あたたまる Kitaraのクリスマス～愛がいっぱい～

第17回ハチャツウリアン国際コンクール指揮部門にて日本人として初めて優勝した指揮者の出口大地と、国内外から注目を集めるフルート奏者のCocomiをソリストに迎え、クリスマスを祝うコンサートを開催する。

期 日：令和8年12月19日(土)

会 場：大ホール

出 演：出口大地(指揮)

Cocomi(フルート)

札幌交響楽団(管弦楽)

③心はずむ Kitaraのニューイヤー～幸せがいっぱい～

全国各地のオーケストラと共演を重ね、活躍の場を広げている指揮者の田中祐子と、ソリストには国内外で活躍しているホルン奏者の福川伸陽、第18回ショパン国際ピアノコンクールで入賞を果たしたピアニストの小林愛実を迎え、豪華出演者による新年にふさわしい華やかなプログラムをお届けする。

期 日：令和9年1月9日(土)

会 場：大ホール

出 演：田中祐子(指揮)

福川伸陽(ホルン)

小林愛実(ピアノ)

札幌交響楽団(管弦楽)

(4) Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ

初めてクラシック音楽に触れる方にも、これまでホールに足を運んでくれたKitaraファンにも楽しんでもらえる多彩なプログラムを実施する。開催時間をアフタヌーンに設定することで、より多くの市民に親しまれるコンサートを目指す。

①札幌コンサートホール×日本製鉄紀尾井ホール連携事業

MATSURI—和と洋の饗宴—

新規

令和7年8月から令和8年12月までの期間、改修工事に伴い休館している日本製鉄紀尾井ホールとの連携事業として、日本を代表するアーティストたちによる邦楽とクラシックのコラボレーションコンサートを開催する。

期 日：令和8年6月6日(土)

会 場：小ホール

出 演：東音味見純(長唄唄方)

今藤長龍郎、今藤龍十郎(長唄三味線方)

篠崎史紀(ヴァイオリン)

曾根麻矢子(チェンバロ)

徳丸吉彦(監修)

②The Sixth Sense

新規

ソロ活動やオーケストラの首席奏者として、日本を代表するトップアーティスト6名で結成された木管アンサンブル「The Sixth Sense(ザ・シックス・センス)」によるコンサートを開催する。

期 日：令和8年9月27日(日)

会 場：大ホール

出 演：The Sixth Sense

上野星矢(フルート)、金子亜未(オーボエ)

西川智也(クラリネット)、長哲也(ファゴット)

濱地宗(ホルン)、岡田奏(ピアノ)

③ハンサム四兄弟

新規

宮本益光を長男としたバリトン歌手4名で結成された「ハンサム四兄弟」による、個性際立つキャラクターと魅力たっぷりの歌声をお届けするコンサートを開催する。

期 日：令和9年1月16日(土)

会 場：小ホール

出 演：ハンサム四兄弟(バリトン)

長男／宮本益光、次男／与那城敬

三男／近藤圭、四男／加未徹

加藤昌則(ピアノ)

(5) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により地元演奏家のレベルアップと聴衆づくりを目指す。

①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会

札幌で活動する若手演奏家によるコンサートを開催。北海道教育大学、札幌大谷大学の各校から推薦された在校生、卒業生を広く市民に紹介する。

期 日：令和8年11月7日(土)

会 場：小ホール

出 演：北海道教育大学、札幌大谷大学から推薦された在校生、卒業生

②令和8年度Kitaraアーティスト・サポートプログラムⅠ、Ⅱ

市内音楽家から創意工夫に富む意欲的な企画を公募し、会場費の補助と広報支援を行う。

期 日：令和9年1月27日(水)、3月10日(水)

会 場：小ホール

出 演：札幌で活躍する音楽家(個人、団体)

③〈Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト〉

札幌の旋律(しらべ)Ⅰ

江別市出身の水戸博之を指揮者に迎え、室内オーケストラを中心に、声楽、アンサンブルなどバラエティに富んだプログラムをお届けする。

期 日：令和9年3月7日(日)

会 場：小ホール

出 演：水戸博之(指揮)

札幌音楽家協議会合唱団(合唱)

札幌音楽家協議会室内オーケストラ(管弦楽)

(6) 社会包摂事業

文化芸術施設に来館する機会の少ない方々にも音楽の楽しさを届けることができる親子向け、障がい児児童向けの事業を実施する。

①子どものためのKitara参加型音楽会&音楽家育成ワークショップ

障がいのある児童に向けた音楽ワークショップで、聴覚障がい、身体障がい、知的障がい、視覚障がいを持つ児童を対象とするほか、地元音楽家向けの指導者養成のためのワークショップを開催する。

期 日：令和8年9月9日(水)、10日(木)

会 場：大ホール

出 演：音楽ワークショップ・アーティスト おとみつく

②0歳からのコンサート

札幌を拠点に活躍する地元アーティストを起用し、絵本の朗読や歌とピアノによる演奏のほか、ハロウィンの時期にちなんだ演出等を取り入れることで、初めてのコンサートホール体験にぴったりのプログラムをお届けする。

期 日：令和8年10月31日(土)

会 場：大ホール

出 演：歌劇弾 with 木管五重奏

川島沙耶(ソプラノ)、下司貴大(バリトン)、山本真平(ピアノ)、八條美奈子(フルート)、岡本千里(オーボエ)、北郁実(クラリネット)、松村恵(ホルン)、濱田奈美(ファゴット)

(7) 他事業部との連携事業

財団各施設と連携し、各施設の特徴を生かした多彩な事業を実施する。

〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉

スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～

北海道教育大学教授でヴァイオリニストの長岡聡季を招き、第26代札幌コンサートホール専属オルガニストによるポジティブオルガンのアウトリーチコンサートを開催する。

期 日：令和8年4月18日(土)

会 場：札幌市民ギャラリー

出 演：赤枝サンテソン留果(オルガン、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)
長岡聡季(ヴァイオリン)

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施する。また、開館以来の世界的な音楽教育機関であるリスト音楽院との連携によるセミナー等の開催により演奏家や指導者の育成にも努める。

(1) エデュケーションプログラム

子どもたちの感性を伸ばし、能力を引き出す事業を実施する。

① Kitara あ・ら・かると

- 1) きがるにオーケストラ～モーツァルトがいっぱい！～(再掲)
- 2) スプリング・コーラス～中学生スペシャル！(再掲)
- 3) ルカさんのオルガンコンサート(再掲)
- 4) 3歳からのコンサート(再掲)

② Kitara のバースデイ(再掲)

【午前】0歳からのきらきらパイプオルガン

③ 0歳からのコンサート(再掲)

④ Kitara ファースト・コンサート

札幌市内及び札幌近郊の小学6年生をクラシックコンサートに招待する。音楽の授業の一環として、世界屈指の音響を誇るKitaraで本物の音楽を体験する機会を提供する。

期 日：令和8年10月21日(水)～23日(金)、11月4日(水)～6日(金)

会 場：大ホール

出 演：川瀬賢太郎(指揮／10月)

エリアス・グランディ(指揮／11月)

第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト

札幌交響楽団(管弦楽)

古屋瞳(司会)

⑤ 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)

(2) アウトリーチ事業

演奏家が公共施設や学校等に赴き、生の音楽の魅力と楽しさを間近で伝える事業を実施する。

①〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉

スプリングコンサート〜ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ〜(再掲)

②専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)

専属オルガニストが移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサート。市内小学校へのアウトリーチは札幌市「学校DEカルチャー」の一環として実施。

期 日：令和8年6月～令和9年2月(調整中)

会 場：札幌市内小学校 2～3校程度

出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

第27代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン)

吉村怜子(お話・オルガン)

(3) セミナー事業

世界的音楽教育機関及び地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

①パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン

地元音楽大学の学生を主な対象とし、一般も参加可能なパイプオルガンについての特別講義とオルガン体験レッスンを実施する。例年、一般参加者が多いパイプオルガン特別講義については、受け入れ枠を拡大する予定。

期 日：講義 令和8年5月15日(金)

体験レッスン 令和8年6月29日(月)

会 場：大ホール、大リハーサル室

講 師：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②第29回リスト音楽院セミナー

世界的音楽教育機関であるリスト音楽院より教授を招へいし、レッスンと演奏会を行う。

期 日：令和9年2月18日(木)～23日(火・祝)

会 場：小ホール、各リハーサル室

主 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、リスト音楽院セミナー実行委員会(音楽大学教授ほか)

協 力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

後 援：駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センター、株式会社河合楽器製作所 北海道支店、日本ハンガリー友好協会

講 師：ミクローシュ・ペレーニ(チェロ)

ガーボル・ファルカシュ(ピアノ)

バラージュ・レーティ(ピアノ)

1) 講師による特別コンサート(再掲)

2) 特別レクチャー&公開レッスン

セミナーで招へいしたリスト音楽院教授によるレクチャーと北海道教育大学、札幌大谷大学学生への公開レッスンをあわせて行う。

期 日：令和9年2月21日(日)

会 場：小ホール

受講生：北海道教育大学学生、札幌大谷大学学生

講 師：リスト音楽院セミナー講師

3) 受講生コンサート

セミナー受講生の中から選ばれた優秀者によるコンサートを実施する。最優秀受講生を選考し、翌年以降、ハンガリーでリサイタルを開催する。

期 日：令和9年2月23日(火・祝)

会 場：小ホール

出 演：第28回リスト音楽院セミナー最優秀受講生(ゲスト)
第29回リスト音楽院セミナー優秀受講生6～8名

(4) 地元音楽大学等との連携事業

音楽学科を設置している地元大学と連携し、未来の音楽家を目指す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

① パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン(再掲)

② The Sixth Senseメンバーによる楽器レッスン

「Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ」公演で招へいするThe Sixth Senseのメンバーが、令和8年11月7日開催「〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会」に出演する学生を対象に、演奏技術の向上を目的とした楽器レッスンを実施する。

期 日：令和8年9月26日(土)

会 場：札幌大谷大学

③ 〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)

④ 〈第29回リスト音楽院セミナー〉特別レクチャー&公開レッスン(再掲)

4 全国ホール等とのネットワーク事業

全国類似ホール等と広く情報交換しながら、共同で事業の企画制作をする。また札幌コンサートホールが招へいする音楽家及び専属オルガニストを他都市・他団体に紹介し公演を実施する。

(1) ホール・他都市連携事業

全国のホールと連携し、共同制作による魅力的な公演を実施する。

① 札幌コンサートホール×日本製鉄紀尾井ホール連携事業

MATSURI—和と洋の饗宴—(再掲)

② 音楽の交差点～輝くバロック 花咲く江戸～

期 日：令和8年6月7日(日)

会 場：室ガス文化センター(北海道)

主 催：特定非営利活動法人室蘭文化センター、公益財団法人日本製鉄文化財団、
日本製鉄株式会社 北日本製鉄所

協 力：札幌コンサートホール

出 演：東音味見純(長唄唄方)

今藤長龍郎、今藤龍十郎(長唄三味線)

篠崎史紀(ヴァイオリン)

曾根麻矢子(チェンバロ)

徳丸吉彦(監修) ほか

(2) 札幌コンサートホールが招へいする音楽家を他都市に紹介

札幌コンサートホールが招へいする音楽家及び専属オルガニストを他都市・他団体に紹介し公演を実施する。

① 専属オルガニストによる公演

1) 立教学院チャペルコンサート

期 日：令和8年4月11日(土)
会 場：立教学院聖パウロ礼拝堂(埼玉)
主 催：学校法人立教学院
出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

2) 赤枝 サンテソン 留果 オルガンリサイタル

期 日：令和8年4月29日(水・祝)
会 場：ホテル日航福岡チャペルプリエール(福岡)
主 催：ホテル日航福岡
出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

3) MUZAランチタイムコンサート

期 日：令和8年6月16日(火)
会 場：ミューザ川崎シンフォニーホール(神奈川)
主 催：公益財団法人川崎市文化財団
出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

4) ザ・シンフォニーホール オルガン名曲コンサート(仮称)

期 日：令和8年8月1日(土)
会 場：ザ・シンフォニーホール(大阪)
主 催：株式会社ザ・シンフォニーホール
出 演：赤枝サンテソン留果(第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

② ダネル弦楽四重奏団

1) 武蔵野市民文化会館公演

期 日：令和8年6月13日(土)
会 場：武蔵野市民文化会館(東京)
主 催：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団
出 演：ダネル弦楽四重奏団

2) アクロス福岡公演

期 日：令和8年6月15日(月)
会 場：アクロス福岡(福岡)
主 催：公益財団法人アクロス福岡
出 演：ダネル弦楽四重奏団

3) しまんとぴあ公演

期 日：令和8年6月17日(水)
会 場：しまんとぴあ(高知)
主 催：四万十市総合文化センターしまんとぴあ(株式会社ケイミックスパブリックビジネス)
出 演：ダネル弦楽四重奏団

(3) 国内ホールとの情報交換

全国の公共ホールと定期的に情報交換を行う。

①コンサートホール企画連絡会議(道外)

参加館：すみだトリフォニーホール、京都コンサートホール、アクロス福岡、
所沢ミューズ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)、札幌コンサートホール

期 日：令和8年7月、令和9年2月

5 PR活動の充実

ホール及び主催事業のPRを実施するとともに会員制度を運営し、より多くの方にKitaraにお越しいただけるよう努める。

(1) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、多様な媒体を活用し積極的な広報活動を行う。

- ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行
- ②ホームページ、Kitaraアプリ、XやInstagram等のソーシャルメディア、テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用した情報提供
- ③音楽専門誌、タウン情報誌、新聞等への広告掲載
- ④SNS広告を活用したチケット販売促進、広報の強化
- ⑤公共交通機関等を利用した広告掲出
- ⑥Kitaraギャラリーを活用した展示事業
- ⑦近隣ホテル、市内観光イベント等と連携したPR展開、外国人観光客に向けたPR
- ⑧各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所等)
- ⑨全国音楽ホール、札幌市内公共施設及び小中学校、地下鉄主要駅、ホテル、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付

(2) 会員制度の運営

札幌コンサートホールの会員制度である「KitaraClub(有料)」と「Kitaraアプリ会員(無料)」を運営する。会員に主催事業や施設の情報を随時提供するほか、チケット先行販売等の特典提供も行い、チケットの販売促進に努める。

入会のメリット等を様々な広報媒体を通して周知し、会員数の増加を図り安定した運営を行う。

6 チケット等販売事業

お客様の利便性を図るため、チケット販売及び来館記念となるKitaraオリジナルグッズの販売を行う。

(1) チケット販売

札幌コンサートホールで行われるチケットのほか、他施設で開催されるクラシック公演のチケット販売も行う。令和7年度にホームページを改良し、購入方法をわかりやすく記載したことをいかし、更なる販売促進につなげる。

(2) グッズ販売

札幌コンサートホールのオリジナルグッズや音楽関連グッズの販売のほか、専属オルガニストCDやKitaraセレクトワインの販売等を行い、コンサート以外にも楽しんでいただけるショップ運営を行う。併せて、オンラインショップでのオリジナルグッズ販売も継続して行う。

7 スポンサー制度

令和7年度より新たにスポンサーになっていただいた企業にご継続いただくとともに、ホール運営の安定化と充実化を図るため、スポンサー制度を広く周知し、スポンサーの獲得に努める。

(1) ホールスポンサー

「ゴールドスポンサー」(5社)と「シルバースポンサー」(3社)を維持する。また、新たなスポンサー獲得を目指し、スポンサーの営業活動を行う。

(2) 事業スポンサー

ホール主催事業に対して協賛いただくスポンサーを募る。協賛金のほか、来場者用プレゼント等の提供をいただける企業も広く募集する。

8 Kitaraボランティアとの連携

札幌コンサートホールの支援組織である「Kitaraボランティア」との連携により各種事業等を実施し、ホールの活動充実を図る。

人 数：102名（令和7年12月現在）

(1)ダイレクトメール発送活動

(2)ホール見学案内

(3)Kitaraギャラリー運営補助

(4)主催事業補助(リスト音楽院セミナー等)

(5)専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)

(6)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

9 その他

①演奏会付き防災訓練

安全・安心なホール運営を行うため、市民に来場者として参加していただく防災訓練を実施する。

期 日：令和9年1月14日(木)

協 力：札幌市消防音楽隊

②札幌コンサートホール施設見学会

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に案内する。

期 日：年2～3回

③地域連携

中島公園を中心とした地域の魅力アップや継承を目的として、近隣の施設や中島公園管理事務所、地域住民と地域で行われるイベント等に対し協力する。

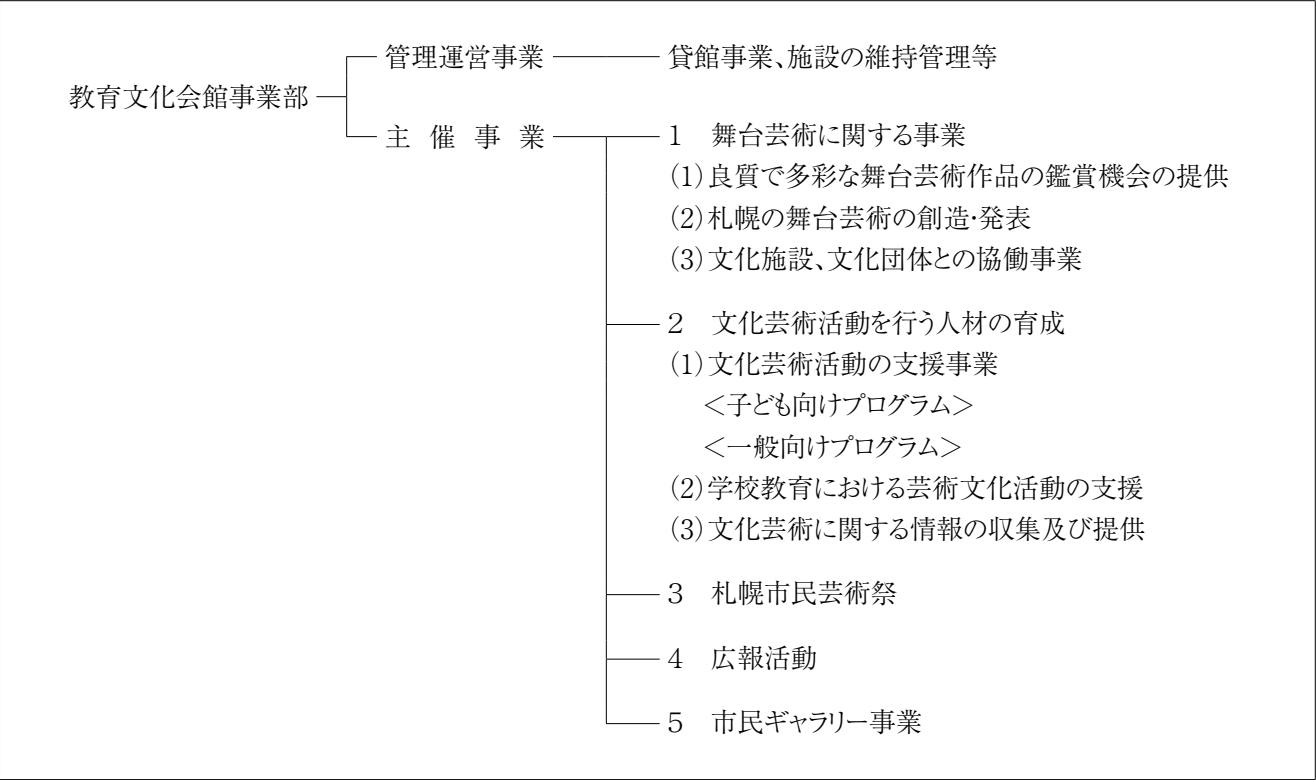
④PMF共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の趣旨に賛同し、共催して事業を行う。

期 日：令和8年7月

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利 用 状 況	札幌市教育文化会館	大ホール 利用率	89.3%	74.4%	80.0%
		小ホール 利用率	81.7%	70.9%	80.0%
		総入場者数	223,649人	483,000人	580,000人
	札幌市民ギャラリー	展示室（第1～第5展示室） 利用率	83.2%	80.7%	85.0%
		総入場者数	120,628人	117,000人	135,000人

※札幌市教育文化会館は大規模改修工事のため、令和5年1月1日～令和6年9月30日休館。
 ※札幌市民ギャラリーは重量壁改修工事のため、令和7年3月4日～16日及び令和8年1月12日～25日利用休止。

【参考】

令和5年度全国公立文化施設平均稼働率
 大ホール(1,000席以上)：60.3% 小ホール(500席未満)：55.1%
 (出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和6年度 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 舞台芸術に関する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品と次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、質の高い舞台芸術作品を上演する。あわせて、舞台作品への理解を深めるためのレクチャーなどを実施することで鑑賞者の拡大を図る。

① 教文伝統芸能シリーズ 教文能 茂山千五郎狂言(仮称)

大蔵流の茂山千五郎をはじめとした狂言師を招へいし、狂言公演を実施する。

期 日：令和8年7月22日(水)

会 場：大ホール

出 演：茂山千五郎 ほか

制 作：LOTUS(京都)

② 教文伝統芸能シリーズ 人形浄瑠璃文楽

日本の代表的な伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている文楽を市民に紹介する。併せて、社会包摂をより意識した鑑賞形態を試行する。

期 日：令和8年10月21日(水)

会 場：大ホール

演 目：昼の部「摂州合邦辻」合邦住家の段、「五条橋」

夜の部「桂川連理柵」六角堂の段・帯屋の段・道行籠の桂川

制 作：公益財団法人文楽協会

③ 教文伝統芸能シリーズ 松竹大歌舞伎

伝統芸能の歌舞伎の普及を目的として、公益社団法人全国公立文化施設協会が企画し、市民に人気の高い歌舞伎の全国巡回公演を実施する。

期 日：令和8年7月9日(木)2回公演

会 場：大ホール

出 演：未定

主 催：公益社団法人全国公立文化施設協会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社道新文化事業社

④ 演劇公演「他人」

新規

新進気鋭の作家・竹田モモコ氏による「日本の劇」戯曲賞 最優秀賞受賞作品『他人』を、南河内万歳一座の内藤裕敬氏が演出上演。内藤氏による演劇ワークショップも開催する。

期 日：令和9年1月30日(土)、31日(日)

会 場：小ホール

出 演：原日出子 ほか

(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

① 教文演劇フェスティバル2026

地元演劇関係者の協力により、教文短編演劇祭を中心に、演劇関連ワークショップ等を行い、札幌の演劇シーンの活性化に努める。

期 日：令和8年9月11日(金)～13日(日)

会 場：大ホール、研修室、リハーサル室 ほか

協 力：日本劇作家協会 北海道支部

②教文オペラプログラム「トスカ」ほか

新規

地元オペラ団体・北海道二期会と協力し、同会初演となるイタリアオペラの名作「トスカ」公演を開催する。
また、トスカを楽しむためのレクチャー型公演も実施する。

期 日：レクチャー 令和8年11月28日(土)

公 演 令和8年11月29日(日)

会 場：大ホール

主 催：北海道二期会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

③教文オペラ 歌のお届けコンサート(アウトリーチ)

市内オペラ団体などと協力し、オペラの普及振興を図る目的で、小学生を対象としたお届けコンサートを開催する。

期 日：令和8年6月～11月(予定)

会 場：市内小学校 10校(予定)

(3)文化施設、文化団体との協働事業

①教文伝統芸能シリーズ 能楽鑑賞のひとつき

札幌の能楽愛好団体による能の発表会を屋根付き能舞台にて行う。

期 日：令和8年5月9日(土)

会 場：大ホール

主 催：札幌能楽会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

②札幌演劇シーズン やまびこ座プロデュース「OKHOTSK―終わりの楽園―」

沢則行ソロパフォーマンス「コウスギ2026夏(KOUSKY=小品集)」公演

新規

札幌で生まれた演劇作品の中から、高い評価を得た作品だけをロングランで再演する「札幌演劇シーズン」。札幌市や北海道文化財団、教文等を含めた実行委員会形式で実施する。

期 日：令和8年8月13日(木)～20日(木)

会 場：小ホール

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、札幌演劇シーズン実行委員会 ほか

③札幌演劇シーズン 北海道高校演劇Special Day

札幌で生まれた演劇作品の中から、高い評価を得た作品だけをロングランで再演する「札幌演劇シーズン」。その特別プログラムとして、「高校生たちの熱演をもっと多くの人たちに届けたい!」そんな願いのもと2017年にはじまった北海道高校演劇Special Dayを実施する。

期 日：令和9年1月7日(木)

会 場：小ホール

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、札幌演劇シーズン実行委員会 ほか

④演劇公演 三谷幸喜新作(タイトル未定)

三谷幸喜氏による東京サンシャインボーイズ復活公演第2弾を株式会社北海道新聞社他と共催で実施する。

期 日：令和8年9月24日(木)～27日(日)

会 場：大ホール

制 作：株式会社パルコ

主 催：株式会社サンライズプロモーション東京、株式会社道新文化事業社、株式会社北海道新聞社(予定)

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑤Farewell 2026 くるみ割り人形

新規

オーディションで選ばれた道内25団体、約100名のダンサーによるバレエくるみ割り人形全幕公演。市内の幼稚園から園児を招待し、舞台芸術に触れてもらうほか、盲導犬協会の協力のもと、視覚障がい者でも楽しめる内容とする。

期 日：令和8年12月18日(金)～20日(日)

会 場：大ホール

主 催：We Love Ballet実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑥人形劇フェスティバル2027年 さっぽろ冬の祭典

市内の人形劇サークルの合同公演を札幌人形劇協議会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と共催する。人形劇の魅力を広く市民に紹介するとともに、札幌における人形劇の普及・発展を目指す。

期 日：令和9年2月13日(土)、14日(日)

会 場：小ホール

主 催：札幌人形劇協議会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

後 援：札幌市PTA協議会、札幌市小学校長会 ほか

⑦人形浄瑠璃2027 さっぽろ人形浄瑠璃あしり座公演

道内唯一の人形浄瑠璃を行う団体として、普及に努めている「あしり座」の公演を行う。

期 日：令和9年2月20日(土)、21日(日)

会 場：小ホール

主 催：さっぽろ人形浄瑠璃あしり座

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

⑧第67回子ども舞踊祭 Junior Festival

市内の青少年と舞踊指導者の育成および成果発表の場として、児童・生徒約300人が出演するクラシックバレエ、現代舞踊の公演を札幌洋舞連盟と共催し、実施する。

期 日：令和9年3月30日(火)

会 場：大ホール

主 催：札幌洋舞連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

2 文化芸術活動を行う人材の育成

(1) 文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。現場に関わるスタッフからの指導を通して舞台芸術の制作を行うことで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

〈子ども向けプログラム〉

①教文伝統芸能シリーズ 教文能 小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和8年7月～8月(調整中)

会 場：小ホール

講 師：能楽師 藤井秋雅(シテ方宝生流)

協 力：札幌宝生会

②子ども演劇ワークショップ

公募による子どもと地元劇団の大人による出演者がワークショップを経て演劇を制作し、発表公演を実施する。講師・スタッフには札幌市内の舞台芸術人材を起用する。

期 日：調整中

会 場：研修室、リハーサル室(ワークショップ会場)、ジョブキタ北八劇場(発表公演)

演出・指導：納谷真大、ELEVEN NINESメンバー

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、一般財団法人 田中記念劇場財団

③子ども体験新喜劇ワークショップ

放送作家の砂川一茂氏、映像ディレクターの川村賢司氏を講師に迎え、「体験新喜劇」の主なコンセプトでもある他者への思いやりや、チームワークづくり、さらには自己肯定感の目覚めなどを養うワークショップを行う。

期 日：令和9年1月5日(火)、8日(金)、9日(土)

会 場：研修室

講 師：砂川一茂(放送作家)、川村賢司(映像ディレクター) ほか

〈一般向けプログラム〉

①市民参加型ワークショップ 教文能 能楽大連吟 札幌

年齢、国籍等を問わず札幌市在住の方々が広く参加可能な能楽の謡を学ぶワークショップを実施し、プロの能楽師による能楽公演へ参加する形での成果発表を行う。

期 日：〈第1回〉

稽 古 令和8年4月14日(火)、22日(水)

発表公演 令和8年5月10日(日)

〈第2回〉

稽 古 調整中

発表公演 令和9年3月(予定)

会 場：大ホール(屋根付き能舞台ほか)

講 師：調整中

(2)学校教育における芸術文化活動の支援

舞台芸術活動の将来を担う小・中・高校生の学校教育に係る文化活動を支援し、発表の場を提供するとともに、演劇上映のためのアドバイス、技術指導を行う。

①中文連演劇ワークショップ2026

札幌市内中学校の演劇部員を対象に、演劇についての知識や表現力を磨く演劇ワークショップの開催を支援する。

期 日：令和8年5月23日(土)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：北海道中学校演劇研究会

講 師：札幌市内中学校教諭 ほか

②第72回高文連石狩支部演奏会

他校生徒との交流を深め、技術の向上を目指して開催する演奏会を支援する。高文連石狩支部加盟の合唱・吹奏楽・器楽管弦楽・日本音楽の4部門の参加校が日頃の成果を発表するほか、合唱、吹奏楽部門でそれぞれ合同演奏を行う。審査により全道大会出場校を推薦する。

期 日：令和8年6月18日(木)、19日(金)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

③第41回札幌市中文連演劇発表会

学校教育における芸術・文化活動を奨励する教育普及活動として中文連の演劇発表会を支援する。市内中学校の演劇部が日頃の成果を発表し、最優秀校2校が全道大会に出場する。

期 日：令和8年7月30日(木)～8月3日(月)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

④第76回高文連石狩支部高校演劇発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加する演劇発表大会を支援する。最優秀・優秀・優良・努力各賞および創作脚本奨励賞を選考する。最優秀校は、全道演劇発表大会に出場する。

期 日：令和8年10月1日(木)～9日(金)

会 場：小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑤第31回高文連石狩支部高校マーチングバンド・バトントワリング発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加するマーチングバンド・バトントワリング発表大会を支援する。最優秀校は、全道高等学校発表大会に出場する。

期 日：令和8年10月20日(火)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部マーチングバンド・バトントワリング専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑥第78回札幌市中学校音楽会

音楽活動の将来を担う中学生の育成を目的とした演奏会を支援する。各地区から選抜された出演校が合唱、吹奏楽などの分野に分かれて日頃の成果を発表する。

期 日：令和8年11月1日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市中学校長会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、札幌市教育委員会

後 援：札幌市中学校吹奏楽研究協議会、札幌市合唱教育研究会 ほか

⑦第21回北海道中学生演劇発表大会

北海道内各地区から選出された中学校が日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。
最優秀1校、優秀2校を選考する。最優秀校は北海道代表として全国大会へ出場する。

期 日：令和8年11月28日(土)、29日(日)

会 場：小ホール

主 催：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社北海道新聞社 ほか

後 援：北海道中学校長会、札幌市中学校長会、全国中学校文化連盟 ほか

⑧第40回札幌市小学校児童音楽祭

札幌市の小学校における豊かな音楽活動の発展と児童の音楽を愛好する心情の育成を目的に開催する合唱と器楽の演奏会を支援する。

期 日：令和9年2月6日(土)

会 場：大ホール

主 催：北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

協 賛：一般財団法人札幌市教育協会

後 援：札幌市小学校長会、北海道音楽教育連盟 ほか

(3)文化芸術に関する情報の収集及び提供

①公立文化施設等とのネットワーク

- ・公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- ・一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- ・札幌市内10劇場による「札幌劇場連絡会」間での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アーツステージ」の舞台芸術部門に参加する。

②実演家など専門家との交流やメディアの活用

- ・主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- ・地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともにニーズを把握し、企画に反映させる。

④リージョナルシアター事業

新規

地域創造が実施する「リージョナルシアター事業」を活用し、演劇の手法を用いて、職員の企画・制作能力の向上、ならびに地域の教育現場が抱える課題解決に取り組む。

期 日：調整中

会 場：研修室

協 力：一般財団法人地域創造

⑤包摂的機能強化

札幌市教育文化会館で実施する各事業の対象者への的確な社会包摂的機能を強化する。

3 札幌市民芸術祭

音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野における市民の芸術文化の創造・発表活動を積極的に支援し、札幌市の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈する。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者約120名により実行委員会と10部会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

①札幌市民劇場

札幌市を中心に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップの企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通じ開催する。企画採用団体には助成金を交付するほか、市内公共施設へのチラシ配布や、札幌市教育文化会館ホームページ、SNSでの公演情報紹介などの広報協力を行い、市民の舞台芸術活動を支援する。

期 日：通年(4月～3月)

会 場：札幌市内各会場

②マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン奏者が出演する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体と社会人団体合同合奏の部の3部構成で、開演前のプレコンサートや楽器展示も行い、マンドリンの魅力を広く市民に紹介する。

期 日：令和8年5月24日(日)

会 場：大ホール

③ギター音楽祭

オーディションにより選抜された札幌市内のクラシックギタリストおよび演奏団体が出演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の各部門で、小学生から一般まで幅広い年齢の市民が参加する。併せてゲスト演奏や開演前のプレコンサートを行い、クラシックギターの魅力を広く市民に紹介する。

期 日：オーディション 令和8年7月12日(日)

演奏会 令和8年9月6日(日)

会 場：オーディション 小ホール

演奏会 大ホール

④市民合唱祭

秋の合唱祭として市民に親しまれ、市内で活動する合唱団が出演する演奏会を2日間にわたり開催する。参加団体の発表と研鑽の場として相互交流を深めるとともに、市民の合唱活動の一層の向上を図る。

期 日：第2部(PTAその他) 令和8年10月17日(土)

第1部(一般・職場・大学・高校) 令和8年10月18日(日)

会 場：大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門で札幌市民の文芸作品を公募し、入選作品を掲載した総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」を刊行する。付帯事業として、優秀作品の表彰式と記念講演のほか、作品選考委員と参加者が語り合い交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第43号刊行 令和8年10月下旬

さっぽろ市民文芸の集い 令和8年11月28日(土)

会 場：3階各研修室

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、将来の活躍が期待される若手のクラシック音楽家が出演する演奏会を開催する。ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の4部門でオーディションを行い出演者を決定する。来場者投票によるオーディエンス賞の贈呈や、前年度札幌市民芸術祭大賞受賞者による特別演奏も実施する。

期 日：オーディション 令和8年9月15日(火)～17日(木)(予定)

演奏会 令和8年11月3日(火・祝)

会 場：大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲(箏、三絃、尺八)の独奏、合奏の演奏会を開催し、邦楽の魅力を広く市民に紹介する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和8年8月9日(日)

演奏会 令和8年11月8日(日)

会 場：小ホール

⑧市民美術・書道展

札幌市民による美術(油彩画、水彩画、日本画、版画、その他)と書道(漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字)の作品を公募し展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和8年12月2日(水)～6日(日)

会 場：札幌市民ギャラリー 各展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

札幌地区吹奏楽連盟に加盟する小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表する演奏会を2日間にわたり開催する。約80団体が出演し、幅広い演奏交流を通じて吹奏楽の魅力を市民に紹介する。

期 日：令和9年1月23日(土)、24日(日)

会 場：大ホール

⑩市民写真展

市民が撮影した作品を公募し、写真の多様な世界を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和9年2月3日(水)～11日(木・祝) ※休館日(2月8日)を除く

会 場：ギャラリー

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動するなど内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申し込みや、各種問い合わせに対応するなど、Webによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌を編集するとともに、舞台芸術および関連分野における内容の特集する情報誌を発行する。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット媒体など様々なメディアを通じ情報提供および提携を図り、施設や主催事業について広く市民にPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

⑤案内、プレイガイド、物販

1階ロビーのプレイガイドにおいて、館内施設や催しの案内業務を行うとともに、主催事業や市内の各種舞台公演のチケット等を販売し、市民サービスの向上を図る。

⑥教文☆ナビ

舞台設備の紹介などを通じ、施設に関心を持っていただけるような事業を実施する。

5 市民ギャラリー事業

①市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて、多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年9回開催予定

会 場：展示室

②〈札幌市民ギャラリー&Kitara連携事業〉スプリングコンサート

札幌コンサートホールKitara専属オルガニストと、Kitara所有のポジティブ・オルガンによるコンサートを開催する。

期 日：令和8年4月18日(土)

会 場：第1展示室

③市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域のまちづくり、交流に寄与している。

期 日：令和8年5月16日(土)、17日(日)

会 場：1階ロビー

④市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸などの講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを実施する。

期 日：陶芸体験教室 令和8年7月24日(金)、25日(土)

七宝体験教室 令和8年8月2日(日)

夏休みお絵かきワークショップ 令和8年8月15日(土)、16日(日)

冬休みお絵かきワークショップ 令和8年12月27日(日)

会 場：展示室

⑤市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを、家族連れや子どもの参加しやすい夏休みや冬休み、春休み期間に上映する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでミニ上映会を開催する。

期 日：夏休み子ども映画会 令和8年8月15日(土)
冬休み子ども映画会 令和8年12月26日(土)
春休み子ども映画会 令和9年3月27日(土)
※ミニ上映会は令和8年12月18日(金)～20日(日)
会 場：展示室 ほか

⑥市民ギャラリーウインターコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。

期 日：令和8年12月5日(土)
会 場：第1展示室

⑦開館45周年記念事業

新規

開館45周年を迎えるにあたり、財団職員による「次世代を担う子どもたちへ向けたメッセージ発信」をメインテーマとした「アートがつなぐ架け橋～芸術文化財団から次世代のきみへ～」を開催するほか、40周年に引き続き、「マル」をテーマとした絵画公募展「〇展」を開催する。

期 日：アートがつなぐ架け橋 令和8年8月15日(土)、16日(日)
〇展 令和8年12月24日(木)～27日(日)
会 場：展示室

⑧高文連石狩支部書道展・書道体験

学校教育と各種芸術団体の将来に貢献する事業として開催するとともに、展覧会期間中に高校生による市民向けワークショップを行い、書道への関心を高め、振興に寄与する。

期 日：令和8年8月7日(金)～9日(日)
会 場：全館
主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部
共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑨札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術・書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和8年11月10日(火)～15日(日)
会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2
主 催：札幌市中学校文化連盟
共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑩札幌市中央区子ども造形展

新規

学校教育への協力事業として、近隣の小学校を含む中央区内小学校の授業で制作した図画工作の作品を展示し、図工教育の振興に寄与する。

期 日：令和8年12月8日(火)～15日(火)

会 場：第1展示室

主 催：札幌市教育研究推進事業 小学校図画工作研究部

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑪中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催する。

期 日：調整中

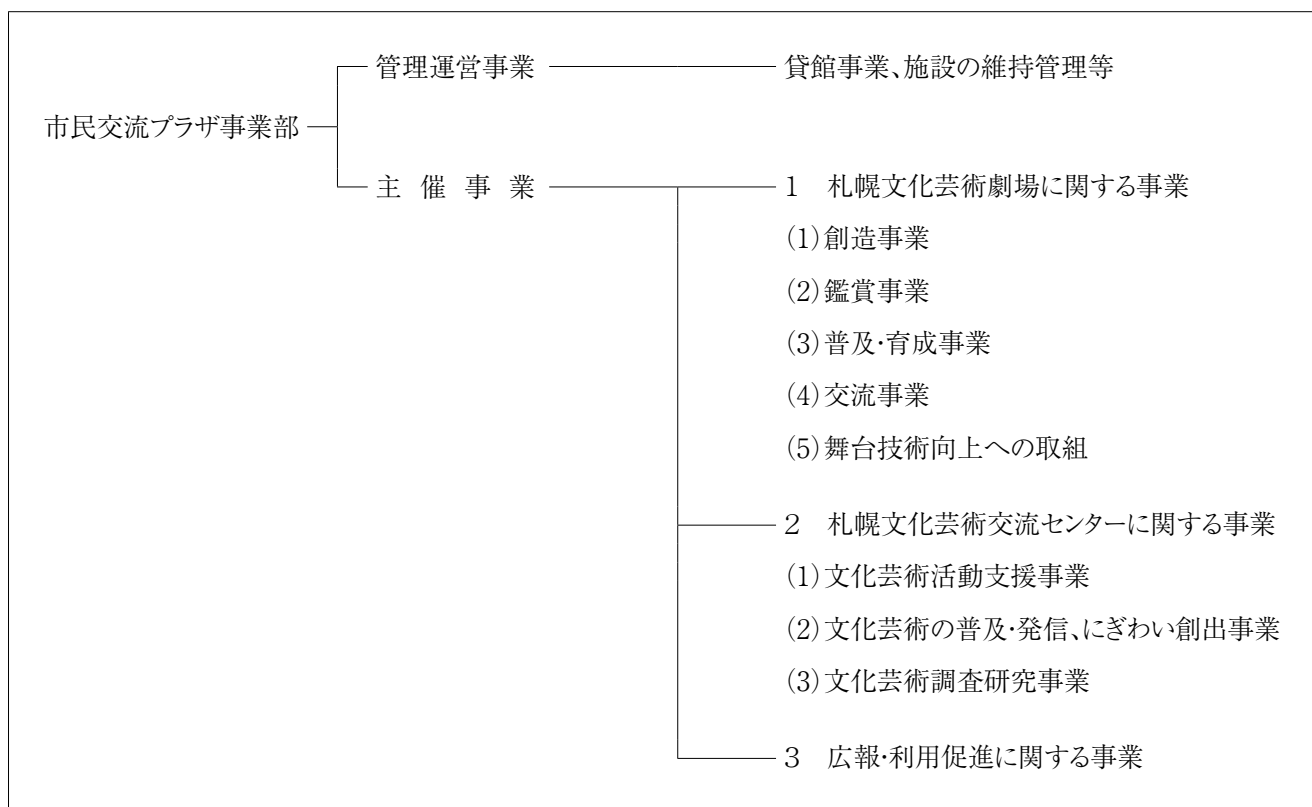
会 場：展示室

主 催：中央区東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

Ⅳ. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利 用 状 況			令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
	札幌文化芸術劇場	劇場 利用率	85.1%	88.7%	90.0%
		クリエイティブスタジオ 利用率	91.2%	91.6%	90.0%
		練習室等 利用率	87.8%	92.5%	90.0%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等) 利用率		94.0%	85.2%	90.0%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)		1,561,125人	1,567,000人	1,600,000人

【参考】

令和5年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：60.3% 小ホール(500席未満)：55.1%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和6年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

① hitaruバレエプロジェクト「眠れる森の美女」(全幕)

地元のバレエ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台としたバレエ作品を創造・発信するhitaruバレエプロジェクト。第2回公演として、「眠れる森の美女」を多彩な関連事業とともに新制作する。

期 日：令和9年2月27日(土)、28日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出振付：高橋宏尚、雨森景子

指 揮：富田美里

管弦楽：札幌交響楽団

② hitaruのひととき hitaruオペラプロジェクト2.5 スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱 **新規**

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台とした新たなオペラ作品を創造・発信するhitaruオペラプロジェクトの関連事業。地元アーティスト、合唱愛好家、道外ゲスト、そして観客が一体となって創り上げる歌合戦形式のコンサートを開催する。

期 日：令和8年8月2日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：栗辻聡

総合演出・台本：宮本益光

企画アドバイザー：針生美智子

③ hitaruオペラプロジェクト(準備)

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台とした新たなオペラ作品を創造・発信するhitaruオペラプロジェクトの第3回公演に向けたキャストオーディション等の準備を行う。

期 日：通年

④ hitaruバレエプロジェクト(準備)

地元のバレエ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台としたバレエ作品を創造・発信するhitaruバレエプロジェクトの第1回公演として制作した「くるみ割り人形」再演に向けた準備を行う。

期 日：通年

⑤ hitaru creation IMMERSIVE ART MIX Vol.2 ～Collective Sound～(仮称)

企画プロデュース、舞台技術等、劇場職員のスキルを結集して実施するhitaru creation事業の一環として、「音のイマーシブ(没入)」をテーマとし、市民参加型のパフォーミング・アーツを新制作する。関連事業としてワークショップも開催。

期 日：令和9年3月13日(土)、14日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

作編曲・音楽監修・サククス：小野健悟

(2)鑑賞事業

①hitaruのひとつとき

市内中心部という優れた立地条件を活用するとともに、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲を多様なテーマ・キャスティングにより実施する公演事業。実演芸術に親しむ機会が少なかった市民にも気軽に鑑賞していただき、幅広い市民に劇場の魅力を知っていただくことを目的とする。

1) hitaruのひとつとき hitaruオペラプロジェクト2.5

スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱 (再掲)

2) hitaruのひとつときPremium レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ (仮称)

1935年の結成以降、数多くの伝説的ミュージシャンやシンガーを輩出してきた王道のビック・バンド・ジャズによるコンサートをブルーノート東京との連携により開催する。シニアや障がい者を対象とした割引や鑑賞サポートを実施。

期 日：令和8年11月6日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ、島津亜矢(演歌歌手・ゲスト、調整中)

②プラザフェスティバル2026 東京二期会「カルメン」(共催)

新規

令和7年2月に東京で誕生し好評を博した、イリーナ・ブルック演出 東京二期会オペラ「カルメン」の全国ツアーを上演する。

期 日：令和8年10月10日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：ユージン・ツイガーン

演 出：イリーナ・ブルック

管弦楽：札幌交響楽団

出 演：加藤のぞみ(カルメン)、二期会合唱団(合唱) 他

主 催：公益財団法人東京二期会

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

③熊川哲也 K-BALLET TOKYO公演(共催)

英国ロイヤル・バレエ団元プリンシパルの熊川哲也率いる人気バレエカンパニーK-BALLET TOKYO公演を共催にて開催する。

期 日：令和8年12月5日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：北海道新聞社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

④市原佐都子「キティ」

ロームシアター京都により企画制作された、社会における不可触なタブーや性をめぐる矛盾を大胆不敵かつ繊細に問いつづけ、世界的に注目を集める劇作家 市原佐都子の代表作「キティ」を北海道初演にて上演する。関連事業として公演アフタートークや演劇鑑賞ツアーも実施。

期 日：令和8年10月31日(土)、11月1日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

作・演出：市原佐都子

⑤「となり街の知らない踊り子」(共催)

現代社会におけるコミュニケーションの諸問題を独自の手法で描き出す劇作家・山本卓卓のテキストと、老若男女から電車や犬に至るまで25役を巧みに踊り演じ分けるダンサー・北尾亘の身体がコラボレートした「となり街の知らない踊り子」を公益財団法人北海道文化財団との共催で上演する。

期 日：令和8年12月4日(金)、5日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

作・演出・振付：山本卓卓(範宙遊泳)

振付・出演：北尾亘(Baobab)

主 催：公益財団法人北海道文化財団

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑥第七回さっぽろ落語まつり(共催)

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第7回公演。東西人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaruと共済ホールの2会場で開催する。

期 日：令和8年5月22日(金)～24日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場、共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

協 力：オフィスまめかな、吉本興業株式会社

⑦ミュージカル「アイ・ラブ・坊っちゃん」(共催)

新規

1992年に初演され、読売演劇大賞優秀作品賞などを受賞したミュージカル作品。苦悩の底にあった夏目漱石が小説「坊っちゃん」の執筆を通して自己を回復していく姿を、史実とフィクションを織り交ぜて描く。全7日間、9公演上演する。

期 日：令和8年6月7日(日)～14日(日) ※6月8日(月)は休演日

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑧2026 HTBジルベスターコンサート(共催)

平成9年にスタートした歴史あるコンサートの第29回公演。

期 日：令和8年12月31日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑨ミュージカル「ミス・サイゴン」(共催)

平成4年の日本初演以来、上演回数1,569回を重ねるミュージカル作品。ベトナム戦争末期のサイゴンを舞台に、少女キムと米兵クリスの愛、別離、運命的な再会を描く。札幌公演は令和4年度以来となる。

期 日：令和9年1月(調整中)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

(3)普及・育成事業

①My First Ballet スターダンサーズ・バレエ団

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学2年生を対象にした招待公演を開催する。日本発信のナショナルバレエの創造を目標に60年にもわたりバレエ界を牽引してきたスターダンサーズ・バレエ団を招へいし、名作バレエ作品の解説付きプログラムを上演する。

期 日：令和8年7月1日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：スターダンサーズ・バレエ団

②hitaruワークショップシリーズ

ライフワークとして実演芸術に親しみたいというニーズに応え、バレエと舞踏をワンコイン(500円)で気軽に体験できるワークショップを実施する。また、hitaru creation IMMERSIVE ART MIX Vol.2関連事業として、音楽をテーマにしたワークショップを実施する。

期 日：令和8年9月19日(土)、20日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：高橋宏尚(バレエ)、関あさみ(バレエ)、明夜(舞踏)、小野健悟(サックス)

③hitaruのひととき hitaruオペラプロジェクト2.5

スペシャルガラコンサート～オペラ歌合戦 hitaruの乱 関連事業 研修プログラム

新規

スペシャルガラコンサート出演者の内、公募をおこなう若手歌手枠、合唱の出演者を対象に研修プログラムを実施し、その成果をコンサートにて発表いただく。

期 日：令和8年5月下旬～8月2日(日)

会 場：札幌市民交流プラザ練習室 他

コース：若手歌手コース、合唱コース

講 師：栗辻聡(マエストロ音楽稽古)、服部容子(コレペティートル稽古)、伊藤明子(演技指導、舞台所作ワークショップ)、高橋清子(メイク講習)、加納明洋・下司貴大(合唱指揮)、岡元敦司(合唱オリエンテーション)

④hitaruオペラプロジェクト関連事業

hitaruオペラワークショップ for Kids オペラの世界へようこそ

新規

小学生の子どもたちがオペラの魅力に触れることができる機会を創造するため、前半はオペラに携わるお仕事体験、後半はその成果発表としてのミニオペラの上演からなるワークショップを開催する。

期 日：令和9年2月6日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ 他

台本・演出：伊藤明子

⑤hitaruバレエプロジェクト関連事業

公開講座 パリ・オペラ座バレエ団 講師による公開レッスン&トークイベント(仮称)

札幌芸術の森バレエセミナーとの共同事業として、同セミナーが講師として招へいするパリ・オペラ座バレエ団講師等を招き、バレエを愛する方々に向けた公開レッスンと講演を開催する。

期 日：令和8年8月(調整中)

会 場：札幌文化芸術劇場 他

講 師：パリ・オペラ座バレエ団 講師

⑥hitaruのひとときPremium レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ関連事業

新規

ワークショップ(仮称)

「hitaruのひとときPremium レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ」関連事業および札幌芸術の森との連携事業として、札幌ジュニアジャズスクールの子どもたちを対象としたワークショップを実施する。

期 日：令和8年11月5日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場

講 師：レジェンダリー・カウント・ベイシー・オーケストラ メンバー

⑦市原佐都子「キティ」関連事業 演劇鑑賞ツアー

新規

令和8年10月31日、11月1日開催の「キティ」公演の関連事業として、公演の前後にファシリテーターによる解説や鑑賞体験のシェアを行う、参加者交流型の鑑賞ツアープログラムを実施する。

期 日：令和8年11月1日(日)

会 場：調整中

ファシリテーター：調整中

⑧札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru連携事業 アートプログラム2026

札幌大谷大学学長の千葉潤氏による、hitaru主催・共催事業の見どころ・聴きどころをわかりやすく解説するレクチャー事業を開催する。

期 日：①令和8年9月4日(金)、②令和9年1月15日(金)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：千葉潤

テーマ：①オペラ「カルメン」、②バレエ「眠れる森の美女」

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

⑨避難訓練コンサート

市民に来場者として参加していただき、劇場からの避難を体験する訓練形式のコンサートを開催。コンサート中に災害が発生したことを想定し、4～9階の劇場から非常階段を使い避難する。

期 日：令和8年10月14日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場

(4)交流事業

①プラザフェスティバル

様々な客層が足を運びやすい環境の提供と多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施する。東京二期会オペラ「カルメン」公演のほかマルシェ等を実施する。

期 日：令和8年10月上旬

会 場：館内各所

(5)舞台技術向上への取組

①第7回hitaru舞台技術セミナー

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上や知識・経験の共有を目的に広く参加を呼びかけ、舞台技術をテーマとした2日間のセミナーを開催する。

期 日：令和9年2月3日(水)、4日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場

②技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行う。

期 日：通年

会 場：札幌市内及び道内各市町村

③学生向けhitaru施設見学会

舞台技術を専攻する市内の専門学生・大学生にhitaruの施設内部を詳しく紹介し、劇場に関する知識や興味を高めてもらうとともに、劇場で働くことをより身近に感じてもらうことで、将来舞台技術者として働く若い人材を育成する。

期 日：令和8年4月27日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1)文化芸術活動支援事業

①SCARTS相談サービス

市内で文化芸術活動を行う団体やアーティスト等が抱える様々な課題について相談できる相談窓口を設置し、ステップアップの要望や活動に対して、助言や情報提供を行う。

期 日：通年

②SCARTSラーニングプログラム

次代を担う若年層を対象とし、実践的なレクチャーやワークショップ等を実施。実演家だけではなく、文化芸術活動を支える人材の育成を目指す。

1) おしえて！アートのおしごとシリーズ

2) 助成金関連講座

3) 彫美連続講座（再掲）

③SCARTS企画公募事業

SCARTS施設の多様な活用方法を示し、創造的なまちづくりに資することを目的に公募から選定されたアーティストや団体による企画を、SCARTSと共同で実施する。

1) 北の“湯”文化展 ～湯けむりの向こうから～

期 日：令和8年8月29日(土)～9月6日(日)

会 場：SCARTSコート

2) 和楽器“箏”の可能性

期 日：令和8年12月12日(土)、13日(日)

会 場：SCARTSコート、SCARTSスタジオ

④札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

令和8年度採択活動への助成金交付のほか、活動の視察、交流会、講評、フィードバック、活動報告等も実施する。また令和9年度実施活動の募集・採択を行う。

期 日：通年

(2)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

①SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト

北海道大学CoSTEPや市教委等と連携し、学校教育での「探究学習」との関わりも視野に入れて、研究者やアーティストの専門知にふれ、思考を深めることを重視したプログラムを開催。招へいアーティストが地域でリサーチを行い、高校・大学生向けのワークショップや交流プログラムを実施するとともに、その成果発表を行う。

期 日：通年(成果発表は7月11日(土)～20日(月・祝))

会 場：SCARTSコート ほか

②SCARTS連携事業

財団内の他施設や地域文化の振興を目的に福祉や教育、コンベンションイベントなどを行う団体と連携し、相乗効果による活動の一層の振興を図る。

1) 大学連携コンサート

札幌市民が気軽に文化芸術にふれる機会を創出することを目的に、財団が連携協定を結ぶ2つの大学と連携し、若手音楽家によるコンサートを実施する。

ア 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校

期 日：令和8年8月21日(金)、22日(土)

会 場：SCARTSコート

イ 大学連携コンサート 札幌大谷大学

期 日：令和8年10月24日(土)

会 場：SCARTSコート

2) SAPPOROぶんだんきょうフェスティバル

札幌文化団体協議会との共催で、絵画や造形美術、書、陶芸、工芸作品などを展示する。

期 日：令和8年8月7日(金)～9日(日)

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

3) こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展

全ての義務教育学校及び中等教育学校、特別支援学校の小・中学部の児童生徒から作品を募り、障がい児・健常児の区分を設けず、作品を展示する。

期 日：令和8年8月14日(金)～16日(日)

会 場：SCARTSモールA、B

主 催：北海道文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

4) NoMaps2026

クリエイティブな発想で次の社会・未来を創ろうとする人たちの情報交換・交流の場として、カンファレンス・展示・イベント・交流事業を行うNoMaps2026に共催する。

期 日：令和8年9月23日(水・祝)～27日(日)(予定)

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：NoMaps実行委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

5) さっぽろアートステージ2026「キッズアートフェス」

子どもたちの創造性を育むことを目的に、アーティストと子どもたちがコラボレーションし、ワークショップ等を通して展示を行う。

期 日：令和8年11月

会 場：SCARTSコート ほか

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

6) 君の椅子20年記念トークイベント(仮)

新規

生まれてくる子どもたちに「生まれてくれてありがとう」というメッセージを込めて椅子を贈る活動「君の椅子プロジェクト」の活動20年を記念するトークイベントを開催する。

期 日：令和8年7月25日(土)、8月22日(土)、9月12日(土)

会 場：SCARTSコート、札幌市図書・情報館1階サロン等

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)、「君の椅子」プロジェクト

協 力：札幌市図書・情報館

③プラザフェスティバル(再掲)

札幌市民交流プラザの開館記念として、にぎわい創出を目的とするイベントを実施する。SCARTSではマルシェやアートセンターへの理解を深めるためのシンポジウム等を開催する。

期 日：令和8年10月

会 場：SCARTSコート ほか

④SCARTSインフォメーションカウンター・コーナー

コンサートや公演、展覧会のほか、作品公募や助成金関係のチラシを配架し、文化芸術情報を提供する。

期 日：通年

(3)文化芸術調査研究事業

札幌の文化芸術の振興に資することを目的として、国や他都市の文化施設や先進的な活動に関する情報収集や調整を行うとともに、アートセンターミーティングの開催などを通じ、文化芸術関係者との交流を図り、ネットワークを形成する。

3 広報・利用促進に関する事業

(1) 広報

① 情報誌作成と事業広報との連携強化

市民交流プラザの取り組みを広く周知するため、情報誌「wave times+（ウェーブタイムスプラス）」（冊子版、WEBマガジン版）を発行する。劇場事業課、センター事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザを一体的に広報する。また、財団施設間連携の一環として、当財団が管理する他の5施設のイベントをピックアップして紹介する。

期 日： 通年

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページ、SNSなどを通じて、即時性のあるトピック、情報誌やチラシだけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報の発信を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行う。ホームページでは英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語での表示対応、ウェブアクセシビリティに配慮したページ作りの他、AIチャットボットによる質問応答サービスを実施することで、利用者からの質問に24時間対応する。

期 日： 通年

③ 市民交流プラザのブランディング

市民や利用者に対し、市民交流プラザの魅力やアクセス方法の認知度を高めるために、オリジナルグッズの作成や屋外広告掲出、イベント協賛などを行い周知する。また、観光分野との連携の一環として、札幌及び札幌近郊のアートスポットや観光スポットを紹介する取り組みを行う。

期 日： 通年

④ その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽMAP」や「ホテルグルメ特集」などの広報物を作成する。

期 日： 通年

(2) 利用促進

① 施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、施設の空き状況などの施設利用に関する情報をホームページで提供する。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を目指す。

期 日： 通年

② 会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、継続会員の確保と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催公演等の先行発売をはじめ、会員限定イベントなどの実施、近隣ホテルや飲食店での優待など、さらなる充実を図り、安定的な制度運営を行う。

期 日： 通年

③ 協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続確保と、新規スポンサーの獲得に努める。また、協賛広告枠を活用することでプラザの事業を広く周知する。

期 日： 通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用 状況	芸術の森		令和6年度実績	令和7年度見込み	令和8年度目標
	駐車場	利用台数	51,574台	40,000台	68,000台

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。

- 施設内レストランや喫茶の経営
(芸術の森、コンサートホール、市民ギャラリー、市民交流プラザ)
来場者の憩いの場として、施設内喫茶およびレストランの委託経営を行う。
- グッズショップの運営
(芸術の森、コンサートホール、教育文化会館、市民交流プラザ)
来館の記念になるよう、音楽や古典芸能をはじめとする芸術関連グッズを購入できる売店を運営する。
- 自動販売機の設置経営
(芸術の森、コンサートホール、教育文化会館、市民ギャラリー、彫刻美術館、市民交流プラザ)
来場者の利便性のため、施設内の随所に自動販売機を設置運営する。

